京城日報

八日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢 三ヶ月金一圓四十五錢 六ヶ月金二圓七十錢（郵送料前金）▲登錄郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別定一行金拾圓 ▲三號活字 ……
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局 一二一四番 營業局 二五番 販賣部 三六〇〇番

[illegible]（右端欄外　列車時間表）

◎日露新協約と華盛頓

日露新協約の內容及び範圍に關しワシントン政界は甚大の注意を拂ひ支那に關する部分に於ては機會均等を目的とする高平、ルート覺書に抵觸する所なきやとの杞憂を抱き居れり（紐育電報）

◎獨帝西部戰場に臨む

アムステルダム來電に曰く獨帝は西部戰線に來りカンブレー（アラスの東々南方二十哩餘）附近に大本營を設置せり（紐育電報）

◎ヴェルダンの將士に

ジョッフル將軍の告諭

ジョッフル將軍はヴェルダンの防備に任じつゝある將士に告諭して曰く聯合國軍事會議に於て協定せし所は今日に至り漸く充分に實現し得るに至れり是れ諸君の死力を盡してヴェルダンの防備を全ふせし賜にして諸君の努力は將に我軍の收めんとする勝利の基礎を爲すものなり（巴里電報）

◎英國陸相新任

ロイド、ヂョージ氏は陸軍大臣に任命されたり（倫敦電報）

◎グレー氏陞爵

英國皇帝はサーエドワードグレー氏に伯爵を授けたり（倫敦電報）

◎東清南半線と滿鐵

今回成立せる日露新協約に依りて東清鐵道南半線讓渡の件は事實となりたるが此の南半線は則ち第二松花江以南寬城子まで約七十哩にして此間九箇所の停車場あり就中寬城子及び窰門兩驛を大とす偖て此の讓渡線の受授手續に就ては後にも報じたる如く滿鐵會社には未だ何等の訓令なき由なるが讓受には種々の手續を要する事なれば其の一切の引渡を了するには相當の日子を費すこととならん授受後此の線路の經營は勿論滿鐵その衝に當るべきも東清線は南滿線に比し軌條約三時半廣きを以て經營著手と共に差當り軌條改築の必要あり此の費用二百萬圓內外を要すべしと稱せらる併し當分は現在の東清線を其儘使用し單に其の軌幅を狹め追て新軌條を布設するの順序となるべし機關車及び貨車も新調の必要ありて貨車は百餘臺、機關車は六七臺を新調せざるを得ざる事とならんが未だ政府より滿鐵に訓令なき今日如何に準備すべきかは明ならず既に四鄭線敷設に對し近く實測を開始せんとし吉長鐵道を改約交涉成立後其の改築等にも著手を要する場合更に露國より讓渡線たる南半線の經營にも當ることなるに於ては滿鐵今後の多忙なる事と察せらる而も其の營業範圍の擴大たるは當然の事にして之れに伴ふ他の種々の施設も亦必要となる譯なり滿蒙經營の將來頗る多事といふべし（大連）

◎神社創立許可

十日創立委員總會

京城神社は元京城居留民團に於て經營し居たるが民團の廢止と共に京城府の所管に移り之を氏子總代組織として現在に至りたり然れども朝鮮にはまだ神社なるものなく從つて京城神社は公然何等の社格を有せざりしが昨年十月神社寺院規則の發布と同時に京城府にては其筋に京城神社創立の許可申請中なりしが各月末日總督府より許可の指令を與へられたり是を以て京城神社は公然法規の定むる手續を履み內地と同樣の資格を具有するに至りたる次第なれば全然京城府との關係を離れ（勿論法規上の取締を受るも）氏子の經營に移ることゝなりたり故に內鮮人百餘名の創立委員は十日午後五時より京城ホテルに於て創立委員總會を開き本年度豫算並に役員全部の改選を行ふべしと因に京城神社は無格社にして將來朝鮮神社の造營なると同時に同神社の攝社として奉祀さるゝものなりと

◎畜牛保護規則

八月一日より實施

昨年來牛皮の需要著しく增加せる爲め鮮內畜牛の屠殺數額に激增し又た近時鮮畜、內地等に於ける鮮牛需要喚起の結果は生牛の移出頻繁を極め畜牛數著しく減退の傾向あり若し此儘にして放任せば啻に其の頭數を減ずるのみに止らず優良牛種は次第に減少し鮮內の畜牛は遂に劣等退化を來すの虞れを免れざるを以て當局にては優良牛に對して相當の保護を與へ濫殺及び亂賣の弊を防いで今後益々其の改良增殖を圖らんが爲め今回新に保護中規則を制定し七月十日の官報に依り府令を以て公布の事に決せり同規則は全文十一條八月一日より實施の筈なり

◎度量衡務合同

總督府にては從來度量衡務を技術及び事務に二分し技術は龍山商工課度量衡分室に於て事務は總督府商工課內に於て處理しつゝありしが今回之れを一箇所に合併することゝなり此程商工課內の度量衡係全部を龍山分室に移轉せり

◎新線工事近況

▲淸津會寧間 其後の工事狀況を聞くに淸津輸城間（十四哩七分）は土工事七分七厘通り橋梁工事三分五厘通り竣工し又輸城古茂山間（十三哩九分）は土工々事九分九厘橋梁工事全部竣工し古茂山釜巨里間（十一哩八分）は土工々事八分通り橋梁工事六分八厘竣工したるが建築列車は目下淸津を距る二十哩の虛通洞附近迄運轉しつゝあり▲文川永興間は九月一日より營業開始の豫定にて目下着々工事進捗中にて文川龍潭間（九哩五分）は殆んど竣工し砂利搗固め工事の一部を殘せるのみ又龍潭永興間（十二哩四分）は土工、橋梁工事全部竣工し軌條敷設を終り砂利撒布工事のみ約一分五厘を殘し附屬建物は目下頻りに建築中にて其他列車運轉開始に伴ふ諸般の設備等を急ぎつゝあるを以て豫定の通り八月中には全部竣工すべしと

◎全北水害と農銀

全北今回の水害は五百萬圓見當と目され耕地の荒廢堤防の決潰其他に於ける水田及び畑の被むれる被害頗る多きが右に付岩崎全州農銀支配人は曰く水害激甚なりとて此際意氣銷沈するは產業の前途より見て寒心に堪へず農銀にては此際被害水田の復舊、堤防の築設、洑の修理其他水害復舊に要する資金にして充分見込みある者に對しては出來得る限り迅速に便利に其の申込みに應じ適當の措置を執る考へなり

◎日本山林大會

大日本山林大會は十五日より六日間島根縣松江市に於て擧行の事となれり總督府よりは本岡事務官を參列せしむ可く同氏は十二日出發の豫定也

◎銀行會社成績

釜山水產株式會社にては來る廿八日午後三時より商業會議所樓上に於て株主總會を開く筈なるが今期成績は純益二萬九千七百二十四圓七十七錢二厘株主配當一萬二千六百圓（年一割二分）にして後期繰越金八百十七圓三十一錢五厘なるが又釜山商業銀行にては來る廿八日午後一時より株主總會を開く筈なるが純益五千四百九十六圓三十六錢にして株主配當は年六朱又釜山棧橋會社にては來る廿一日午後一時より商工俱樂部に於て總會を開くべく當期純益金二千四百七十三圓三十六錢にして株主配當は年四朱なりと

◎陸地棉袋製織計畫

慶尙北道にては陸地棉栽培獎勵に少なからざる苦心を拂ひつゝあるが今秋收穫棉收用袋の供給を充たす爲め慶尙北道は尙州義城地方へ石田道書記を派し義城郡の如きは面長會議を開き陸地棉用袋として尙州郡に一萬五千反、義城郡に一萬反を製織せしむる事に決定し播州及び愛知縣一の宮へ製織用筬各一千枚宛注文したりと

◎楊州郡の繭販賣

京畿道楊州郡に於ける共同販賣の內七日楊州郡に於て行ひたるものは特等五十六圓一等五十一圓二等四十四圓三等三十六圓にて取引行はれ何れも京城製絲場にて買取ることとなり其他は一般商人の手に落札せしが總石數七十八石也しと

◎辭令

七月七日附を以て左の通り辭令ありたり

補平壤地方法院檢事正（公州地方法院檢事正）關口半
補公州地方法院檢事正三級俸下賜（釜山地方法院檢事）森浦熊藏
補釜山地方法院檢事正（平壤地方法院義州支廳檢事）窪田頴
補釜山地方法院檢事四級俸下賜（釜山地方法院晉州支廳檢事）堀勘治郞
補平壤地方法院新義州支廳檢事（平壤地方法院鎭南浦支廳檢事）新藤寬三郞
補釜山地方法院晉州支廳檢事（京城地方法院檢事）河村靜水
補平壤地方法院鎭南浦支廳檢事七級俸下賜（朝鮮總督府檢事）伊藤德順
二級俸下賜

◎工業懸賞審査囑託

京城商業會議所にては既報の如く七日午後四時より役員會を開催し打合を爲したる家庭工業懸賞答案の審査に關し協議の結果原案通り豐永博士、杉本商工課長の兩氏に審査を依囑することゝなり其審査は兩氏に於て採點を請ひたる上再び役員會を開き最高點者一名に對し三等賞金二十圓を授與するものなり

◎水道主任實地視察

總督府にて開會中なりし各地水道主任會議は七日を以て會議を終り八日は午前八時半より一同龍山に向ひ鐵道私設水道、竇染津水原地等を巡視し同所に於て午餐を共にしたる上二時半解散したり

◎坂出技師歡迎會

總督府內各局長等の發起に係る土木局技師坂出鳴海氏の歡迎會は八日午後七時より朝鮮ホテルに開催官民有志數十名出席す可く席上坂出氏は歐州視察談を試むべし

◎飯島囑託辭任

舊韓國政府時代より關稅に關する諸般の報告類調査に從事し居たる總督府囑託飯島榮太郞氏は今回病氣の故を以て退職せり、府內各有志は氏に記念品を寄贈す可く目下奔走中なるが聞く處に依れば氏は靜養後釜山金鑛の招聘に應ずる由なり

◎朝鮮米界の波瀾

仁川の米穀市場は最近賣方買方共に非常の熱度で從つて混亂の狀を呈し六日以來取引所は當限り乃ち七月分の立會取引を停止した、で其後の取引は中限り及び先限りのみ行はれて居る

▲混亂の原因 何故左樣に混亂の勢ひを誘致したか、それは色々あるが主なる材料は水害の鮮米に及ぼす影響の樂觀悲觀及び大阪相場の强氣等にあるらしい、乃ち仁川取引所に於ける買方は全北慶南の水害影響を悲觀して賣方が現物を纒め得ないのを見越し先高を思惑して盛んに買煽り、一方賣方に於ては水害一部にて鮮米の大勢に影響なしと見てとり强く賣應しに出る爲めだ、加ふるに茲兩三日來大阪定期米相場の昂騰が直ちに仁川にも影響して石七八十錢方の上りを見たから兩派の熱度は油を注いだやうに一層高められた、然も現物（正米）は仁川に六七萬石ありと云ふ說と二三萬石に過ぎぬと云ふ觀測があり、地方筋の貯米も必らずしも多からず少なくも當業者が手放しを急がぬ爲め、取引所では熱度の昂まつた兩派の當限り取引を此儘打捨て置いては現物受渡し上に不和を損はん事を恐れ六日當限りの停止を斷行したと見るのが至當であらう

▲兩派の睨合ひ 此の兩派の睨み合ひは何日迄續くか、玄人筋の觀測では兩三日にして解け合ふだらうと云ふ、解け合へば此の兩三日來多少値の張り過ぎ氣味な定期も正米も下り氣味だらうかと云ふ、何しろ此の解け合ひの遲速及び兩派の勝敗に多大の關係あるは東拓貯米の賣腹である東拓の態度である、東拓は頗る自重してゐるやうだが形勢の變化により如何樣に動き出すかは覗はれぬ、其處に前途の面白味がある、尙ほ兩派睨み合ひの形勢によつては先日釜山で見たやうに鮮米の逆輸入も又內地で賣出された調節米の朝鮮移入を見得るだらうとも云はれてゐる、兎も角朝鮮米界は茲兩三日間が見物であらう。（某當業者談）

仁川

▲府協議會 仁川府廳にては七日午後二時半より府樓上に於て協議會を開會せり出席者は河野、美濃谷、稻田、茂木、崔、鄭、孫の七氏にて府吏員定員條例中改正の件大正五年度仁川府歲入出追加豫算の件仁川神社に對し土地建物並に附屬器具祭典基金等無償讓與の件に就き諮問する處あり何れも異議なく原案通過午後四時閉會せり（因に仁川神社費の負擔重きに失する感あるは前示公園の設備維持保全萬端を今回凡て神社に於て經營する事に決せるに依るものなりと）▲繭購入 仁川府廳にては此程京城恩賜授產製絲場に於て本年は當分繭購入を繼續の旨通牒ありたるを以て其旨一般當業者に通知を發したり▲害虫發生と通達 仁川府廳にては京畿道種苗場より同場ニセアカシヤ播種床に體長く全體乳白色腹部の背面少しく淡黃色を呈し頭部稍三角形をなし之に甚だ長き鬚狀の觸角を有し腹端には二個の尾毛を裝ふ恰も多足類蜈蚣の如き形狀をせる虫名不明の害虫發生し其被害侮り難きものある旨通牒ありたるを以て一般に注意方通達せり因に蟲名及び驅除法等は目下取調中なれば追て發表さるべし

開城

▲小學校長轉任 開城小學校長片岡喜三郞氏は此度龍山小學校に轉任を命ぜられ後任として仁川小學校の井上藤太郞氏任命せられたるが多年父兄の信賴厚かりし片岡前校長の轉任を非常に惜み居れり▲裁判書記異動 開城法院支廳書記丁殷奭氏は春川に轉じ後任には春川下村氏任命されたり▲裁判廳舍建築 開城法院支廳々舍は從來分奉寺の古建物を修理したる物にて不便少なからざりしを以て本年度に於て愈々改築する事となりしが位置は現廳舍の隣接地にして工費一萬六千餘圓工事は京城の日出田某之を請負ひ土工は開城の都築商會に於て下受をなしたり▲軍人射的會 在鄕軍人會開城分會にては九日南山麓に於て射的會を行ふ筈なり

群山

▲前月貿易狀況 群山稅關支署調査に係る六月中に於ける群山港輸移出入貿易價格表を見るに輸移出品は米穀十六萬八千二百三十圓牛皮一萬三千九百零五圓を重なるものとし其他を合計して輸移出總價額十九萬二千九百二十五圓となり此れを昨年の同月に比するに米穀は實に二十六萬四千六百八十六圓を減じたるが牛皮は九千百六十九圓の增加を見總額に於ては二十四萬八千三百五十六圓の減額を示し居れり輸移入品にては小麥粉四千八百三十二圓食鹽三千八百二十六圓麥酒及び黑麥酒四千百七十一圓石油五千四百零六圓細織絲四千六百七十三圓生金巾及びシーチング一萬二千零十一圓晒金巾及びシーチング八千九百六十圓諸器械類七千五百三十七圓叺繩及び莚……煙草八千六百十圓等重なるものにして其他を合計總價額十三萬一千二百三十一圓にして此れを昨年同月に比すれば二萬四千七百六十八圓の減少を示したり▲課稅價格變更 群山稅關支署に於ては輸移出課稅價額を左の如く變更し來る十六日より實施すべし

大豆	一石	上十六圓四十八錢下六圓二十七錢
小豆	一石	上八圓十七錢下七圓七十錢
小麥	一石	上七圓五十一錢下六圓六十五錢
落花生	百斤	五圓九十七錢
牛皮	百斤	四十五圓十八錢
牛	一頭	最大四十圓最大二十二圓中二十七圓
小牛	一頭	最小十四圓

▲道長官來群 全羅北道長官李軫鎬氏は管內水害狀況視察の途黃登臨陂地境を經て六日午後五時群山著一泊の上群山府沃溝を調査し翌日二番發列車にて歸任したり

江景より

西海生 五日發

▲五日午前八時群山發列車にて江景に向ひ候、裡里驛に到著せる時記者に先立つ一兩日前より全北各地の水害狀況を視察せし田中總督府事務官及び飛鋪鹽の兩氏ドヤドヤと車中に入り來り候▲兩氏共に汚れたる金筋の制服、膝より下に土塗れのゲートルを捲き、足袋跣足の身輕な扮裝なり、連日降られ又照らされし爲め顏色は焦け加ふるに頗る憔悴しゐたり、併し元氣は旺盛にて兩氏交々其の所見を小生に陳じ呉れ候▲田中事務官の談を聞けば全北の水害、面積廣く損失多額に上り居れど、其の一村一郡に於ける被害の程度は、昨年の西北鮮水害の狀況の慘憺たるに比せんか殆んど同日の談に非ず、西北鮮に於けるは水害は山地丈け狹少なれど殆んど復舊の見込なし然も全北の災變は復舊に多くの時日を要せず、此點相違する如しと云ふにあり候▲黃登驛にて吉村臨益水利組合理事、一行を迎へ少時水害談を致し候、吉村君は元來稀有の樂天家也然も今回の水害には大分前途を悲觀しゐたり、田中氏は何やかやと短き時間に各方面より吉村君を激勵致し候▲黃登を通過し、咸悅を經て江景に北上、此邊丘陵起伏、年々其の丘陵間の耕地は畑作とする外なきも、本年は降雨多量地主の豫期以上に植付け出來、地主はホクホクものなりと承はる、九時半江景著、田中氏等と分れ忠南平野の瞥見に赴き候、先は不一

釜山

▲商業會議所決算 釜山商業會議所にては去る七日午後一時より商業會議所役員會を開きしが同決算の爲め差引殘額六千三百九十三圓十錢に更に當座預金六千百八十六圓餘及び其他の財產を加ふれば同會議所の資產は合計五萬七千九百四十八圓九十七錢なりと▲小學校の入札 釜山府にては第三尋常小學校增築の爲め去る七日午前府廳に於て入札を行ひたるが其の結果七千百七十圓にて同地草梁田中善吉に落札したり尙ほ同校の增築工事は來る十月中旬頃落成すべしと▲平福畫家歸東 東京國民新聞社畫家平福百穗氏は金剛山よりの歸途慶州に立寄る筈なりしが都合に依り去る七日夜の連絡船にて歸東の途に就けり

安州

▲法院支廳近況 平壤地方法院安州支廳に於ては本年四月より登記事務の取扱を開始したる結果非常に多忙を極め居れり民事々務は多少減じたる模樣なるも從來の廳舍にては狹隘を感ずるより近々廳舍の一部を增築すべしと▲安州と時報 安州城內は舊來守備隊のありし當時は軍隊のラッパを以て正午の時報となせしも守備隊引揚後は正午を報ず可き機關なき爲め不便甚だしく今回安州分隊及び郵便局は協議の結果相互に每日正午鐘を打つ事となし七月五日より之を勵行し居れり

人事消息

▲鎌田治策氏（平南第一部長）八日入京不知火へ▲山縣悌三郎氏（神戶高商敎授）入京中の處八日夜退京の豫定▲高木信威氏（やまと新聞主幹）七日夜入京朝鮮ホテルへ▲グッドノール氏夫妻▲ドマリー夫人▲ハンメトン夫人▲ルゲッシ孃▲ベル氏（以上米人）▲プリンゲル氏夫妻 同上▲池田泰治郞氏（土木課長技師）八日忠州北道管內に出張▲今野清氏（山林課技師）八日東萊へ出張▲岩井長三郞氏（土木課技師）八日咸興、元山、洗浦へ出張▲齋藤氏（平壤府技士）七日夜釜山より內地へ▲ストロミロフ氏（吉林駐在露國領事）同上▲平部百硯氏（畫家）同上▲岩本長明氏（京城地方法院長）鎭南浦出張中の處七日午後歸任▲本田博士（勸業模範場長）二十七日頃横須賀賀茂水の筈

法人及商業登記公告

主人朝鮮勸農株式會社支配人小野寺治郞ヲ解任シタリ
右大正五年七月五日登記

財團法人私立東洋協會植民專門學校京城分校
名稱、目的、事務所…… 許可ノ年月日大正五年六月…… 資產ノ總額金……（判読困難）
右大正五年七月六日登記
京城地方法院

御土產物
內地土產は本町電氣會社前の伊藤骨董商店のヒスイ及高麗燒を御持下さい價格は精々勉强致します
本町二電氣會社前（電話九九四番）
骨董商 伊藤寶古堂

石龍子 高弟 隈本修平氏
今般東京性相學會朝鮮支部主幹として當地に在住當分左記の處に於て一般鑑定の依賴に應せらる
鑑定所 京城旭町日の丸旅館
鑑定料 金一圓
性相學會へ入會者は一回限り無料
當地 後援者一同

流行の價は正銀側時計殆ど半額
本品は瑞西國會社特製正銀側三個年保證付實價石五入銀細密時計 18形三拾五圓 ……
東京 日野時計店

寫眞機 寫眞材料
京城明治町二丁目
長崎屋商店
電話二二二〇番

登錄商標 御旅行用 至極輕便 無比耐久 の鞄
御用者は御使用に好都合の鞄
東京市芝區伏見町
內田問屋 鞄製造

南鮮水害地視察　慶尙道方面

◆慘澹たる水の跡　―第六信―

神崎特派員

七月四日發　金泉にて

祭を終り卽ち慶南より慶北金泉に向ふ。

圖金泉は慶北に於ける第一の水害地である。廿一日夜來の雨が廿三日に大豪雨と化し午前十時尙州、知禮、茂山各地の交通は全然杜絶の止むなきに至り氾濫した甘川及び支流直指寺川の河水は忽然として氾濫し午後一時には道路を決潰して邑内に浸水し旭町、本町、錦町の全部、黃金町南下町の一部に襲ひ來つた。夫れも午後三時には雨も小降りと成り邑内の浸水も減少し出した

▼水田湖と化す

圖金海邑内に郡廳、水利組合事務所を訪ひ直に俥を仙巖に返へす。先刻は堤防上を迂回したが今度は堤防内の普通道路を行くのである、途上一日暴雨なくして水田の湖水と化した水中を半ば車輪を沒して行く圖仙巖で遊覧船を待つ事二時間、舟の航行途上機關故障の爲め不通と成つた事が判明したのは漸く午後の時である。止むなく渡船と徒歩に依つて中島、向島を擁し鳴旨島へ渡る事とした。兩名等は肩から脇に掛けて手拭で結び止め長靴はステッキの先に提げて肩にし靴足袋素足と云ふ奇裝圖廿六七日の出水は勿論此島々をも襲ひ大渚面の如きは堤防決潰河水は果樹園を滿して勢ひを逞ふしたが、損害は三浪津に於ける程甚大ではなかつた。然し虫が著いて年作物が下だと云ふ。圖途上道路の崩壞、浸水した田畑の状は尙當時の慘害を物語つてゐる。疲れた足の重に歩みも遅れ鳴浦に行ついたのは午後八時、匆忙として市場驛長の歡待を受け九時に近く汽車に投じ、九時半三浪津に著く。

▼被害三十萬圓

圖密陽郡に於ける洛東江の水高は三浪津其他沿岸等を概觀して廿六日午前が最高で廿三尺六寸に達した。六月中に於ける降雨量は十七日、其雨量四百十六、八（密陽郡廳雨量觀測）家屋の流失破損及水害等の災害を蒙つたもの日鮮合計一千戸、被害農作物總被害見込額三十萬圓、浸水及流出田畓三千町歩（全田畓の二割に相當する）である。―金泉、密陽兩郡の視

▼水田砂に埋る

圖然し大新洞、開寧面東部洞方面の出水は經濟上多大の損害である。稲作は未だ漸く六分通りの植付けを了し麥は四割の未收穫の處に襲ひ掛られたので肯代は勿論沂角の田畓全部浸水中に沒せられ最も甚しきは水田五十町歩餘り厚さ二尺の土砂に埋沒せられてしまつた圖二尺の土砂を取除いて水田にする勞力は寧ろ他に水田を買求むるに若かぬ。唯其儘に畑として馬鈴薯、落花生を作らんには稍や見るに足らんと云ふ。要するに怠けて遊んだ者には損害なく、早起勉勵して植作けた水田は之を失つた理である――と又慶北第一部長は金泉に出張し偶々視察中の大塚第二課長と共に實地踏査の上郡當局を指揮して復舊策に腐心焦慮した

◇皇后陛下御撮影

皇后陛下には五日午前十一時頃大森大夫其他數名の高等女官等を從へ紅葉山なる御撮影所に成らせられ御更衣室に於て御大禮裝デコルテーを召され御頭上には金光眩ゆき寶冠を頂かせられ小川、丸木兩氏御用を承はり御撮影遊ばされたりと拜承す

南大門通り下水工事

車窓縱談　―3―

渡歐途上の　福田將軍

□國民と國民との問題

支那の事は由來頗る模糊として向後如何に發すべきかは素より豫測し得ないが恐らく今後は極端なる立憲政體が實施される事だらう。若し帝制が實施せられ袁世凱見たいな男が皇帝たりとすれば其一人が諸政の根元であるから目的は一に歸するが立憲政體であつて見ればさうは行かない

▽大總統でも　いけなければ閣員でもいけない。立憲政體の立法の基礎は輿論である。隨つて輿論の代表者たる國會の議員が目的の對者と成つて來る。結局は輿論の代表者のみに止まらず輿論其物、卽ち國民に接しなければならない事と成つて來る。然も

▽支那の國民　に接觸すべき日本は單に外務大臣、公使、顧問のみでは無い。日本が立憲政體たる以上は矢張り輿論が立法の基礎たらざるべからざるは勿論で、隨つて究極日支兵に接觸し眞に提携せんと欲せば國民と國民との問題に轉じて來なければならない。日本人の支那乃至支那人に對する

▽研究と理解　との不足不滿は茲に於て問題と爲つて來るのである。政權に接觸してれば利權は自然に附隨して來るものではなからうか、然も對者に不快も惡感も抱かせずに獲得し得る事ではなからうか。徒らに枝葉の問題に齷齪して常に對者に不快惡感を抱かせ根本の問題に遠ざかつてゐると云ふ事は全く愚な事だ。支那に於ける

▽英國の遣口　を見るに上下に隨るい、評判を持れ乍ら然もいつの間にか著々として利權を獲得して行つてる。敢て要諦を擁つてるものでないとも言へない――然しそれより此の一點許りでも外交は出來ない。一體日本人は當局の政策に對して餘りに批評が過ぎはしないか。殊に所謂政治家が當局に批難を加へると云ふ事は結局は自らを批難する事になつて來る。卽ち

▽自分の天下　となつた時に同じ批難を受ける樣な事を繰り返すのだ。是れは後に論ずる問題だが當局となつて見れば又止むを得ない事になる、財政が充分でない恨みもある列國に顧慮を拂はねばならぬ場合もあるつてくる其れは又何故か？日本の位置が列國に伍して敢て志の處を實現して行くのに未だ充分に資格が無いからだ

▽國際的優位　にないからだ、換言すれば弱いからだ。日本はまだ〳〵強くならなければならないで強くなると云ふのは富に陸海軍のみを言ふものではない。國家の諸行方面の組織立つた充實、卽ち換言すれば文化の程度を高めて行かねばならない。今は

▽大事な道中　なのだ其れにしてるら樣では到底も目的を完全に徹らすに外交や軍事を政治の其にたりに貫徹する事など出來やしない。一體内政と外交とは別だ、と云ふのは單に理論に過ぎない。事實は相關聯し相密接して行つてこそ兩々互に生きて行けるものだ。

▽外交政策が　よろしく行くに於ては内政も隨つてよく行く譯ではないか。密接してるからこそ外交が内政に道具に使はれもするのだ。けれども其處が大事な處だ。日清役後の遼東還附の問題だつて日本が強かつたら列國から

▽あんな問題　を提起しては來なかつたらうし來ても拒絶してやる處だ。其れを攻たつて攻める方が無理なのだ。決して時の内閣が惡いのでもなし外務大臣がヘマをやつた譯でもない。日本が弱かつたからなのだ。

▽國が強けれ　ば外交も巧みに行かうし隨つて内政も圓滑に行くであらう。日本現在及び將來は内政の爲めの政事に沒頭してる時ではないではないか。國民總掛りでモット〳〵強大にしてかゝらなければならない時なのだ。各方面に於ける國家組織の充實進展、卽ち一言にして言へば

▽文化の程度　を高める事其れが日本現下の急務なのだ。二箇師團增設如きがあれ程の大問題と成る如きは歎かはしい至りだ。

七人兇賊

旅客十數名を拉去す

去月二十四日間島より鮮内地に入込みたる七人組の朝鮮人强盜は同日午前十一時より會寧茂山間の通路上なる茂山郡東面豊山洞葛浦嶺の險所を要し通路より約三丁を距つる溪間に根據を構へ二三人宛交代して街道上に出で通行の旅客あれば六連發短銃肉切庖丁等を突付けて脅迫し直に根據地に拉致して用意せる牛馬繫用の大繩を以て嚴しく縛り上げたる上旅客の身體を檢査して所持の金品を掠奪し其儘放逐する時は之を官憲に報せん事を怖れ制縛の體布帛にて目隱を爲し大木に縛り付け飮食物をも與へず斯くして廿四日夜迄に十七名を拉致し夜中は時々發砲威嚇して其逃走を防ぎ更に翌廿五日同一手段を以て二名を拉致し同日午後七時頃制縛せる被害者は其儘に放逃走せるが數日前犯人の一名は逮捕されたり其自白する所に依れば彼等は間島に浮浪せるものにて鮮内地に入り强盜を爲さんと共謀して犯行に及びたるものなりと（會寧）

●天鬼大連に向ふ

馬賊の頭目天鬼一行は七日朝嘉義丸にて大連に向ひたるが二箇月の後は活動すべしと言明せり（大阪特電）

●爆藥を窃取す

本月四日夜半城津明治町山田弘隆商店所有の同地高抹山に有る火藥庫の錠前を捻切りダイナマイト三箱を窃取せるものあるを五日朝に至りて發見し憲兵警察協力して犯人の捜索中なりしが六日城津に於て犯人長藤光三郎外二名を逮捕したり、窃取の目的は取調中にて未だ判明せず（清津）

●銀行團の春川行

勝田鮮銀總裁以下同行理事局長、東拓林、井上兩理事、第一銀行西村支店長、十八銀行足立、毛利、百三十銀行河井、石川商業銀行豊田、富永、漢城銀行趙、森、漢一銀行金氏等約二十名の銀行家は漢湖農工銀行遠山[illegible]

●大同江に投身

平安南道大同郡林原面高山里農康希俊の妻吳氏（二一）は五歳の時住所不定吳尙文なる者より康方に買はれたるが同人は少しく愚鈍の性にて過般來頻りに此の世を悲觀し居りしが七月二日午後十時大同郡林泉洞上五里に至り大同江岸より身を投じ溺死を遂げたり

支那人以下同行員の東道にて九日春川へ向ふ筈なるが一行は同日午前七時半四台の自動車に分乘し先づ京城を發し午頭山に於て書餐を認め春川附近の勝地を探り午後三時半同地出發七時歸京す可しと

●人妻を辱しむ

慶尙南道山淸郡丹西面瓦湖里鄭鉉根（四七）が去る三月二十四日の夜隣家に住む白相浩の妻金亭洞（二）を辱めたる事件は去る六日釜山地方法院に於て開廷審理の結果權鉉根は懲役三年に處せられたり

●兇賊は十年

全北鎭安郡程川面高龍金京珍は去月七日晩同里金永化方に突入して同人の妻洪姓女及び二男基洙並に妻崔姓女三名を制縛して棍棒を示して脅迫し白米二斗外數點を強奪し更に隣家白學水方に侵入し妻尹姓女を縛し棍棒にて脅迫の上煙管一白米五升大豆七升、銀一個を強奪したる廉に依り全州支廳法院の合議公判に附せられ懲役十年を言渡さる

●大泥棒捕はる

釜山府大新洞金二事伊時東（三）は窃盜犯の嫌疑にて去る六日釜山警察署に引致され取調べの結果同人は去る二十六日大新洞居住中野萬太郎方より白米二斗餘を窃取したる外昨年春頃より本年にかけ數十箇所に於て價格約數百圓の物を窃取したること發覺し去る八日檢事局に送られたり

●相撲年寄召喚　東京相撲協會の力士合併に係る養老金千五百[illegible]れたるが聞く處に依れば事件の内容は先頃來本所相生署長の取調べに依[illegible]

舟山面靜成里生れ金漢中（三二）同面中[illegible]人を殺害すべしとの脅迫文を送りたる[illegible]牧村[illegible]京城樂園洞居鈴木莊市[illegible]崇仁洞金鎭容（二）の兩名が共謀[illegible]像）となりたり

●連絡船上陸客　七日朝入港[illegible]

▲七日夜入港對馬丸　一等　外人二名、二等　和田乙二、[illegible]

社会研究　旅藝人の話（一）

―紙―

三遊亭遊三一行が支那滿洲巡業の途に上る――船に弱つた遊三 已に生れぬ二頭立の馬車は――一體摑つて大名屋――役者と思つたら落語家だよ――落語家だつて人間だい――色男

浮氣と放縱を表看板に――藝人になりけり、行く先き先きの水に合はねば――てな事で旅から旅へと、人の掟ろを當てにして流がれて歩るく藝人の群には人に知れない苦勞もあらう、又愉快もあらう、之れから書き出すのは支那滿洲を巡業して舞ひ戾つて來た京城には毎度お馴染の二代目三遊亭遊三の話――落語家なんてものは口から先きへ生れて來たわけでもありませんけれど

▽高座に上れ　ば臆面も無く、詰らない事を申し上げます。所が旅へ出て船にでも乗り、暴風にでも會ふと、イヤもうから意氣地が無いもんでさあ、何んでも滿洲へ行かうてんで元山から乗り出した船が途中で揺れ出した時なんざあ、尾籠なお話ですけれども、厠にゆくのに一人では歩けないんで、兩手を執つて貰つて三人掛りでヒョロ〳〵しながらゆく

▽可愛相に女　なんか、チャン〳〵坊主がゴロ〳〵してる中を押し分けて匍つてゆく始末で、一座の者も殆ど閉口してしまひ、船に乗る所なんか最う死んでも嫌やだ、弱い音を吐き出す位でしたがそれでも、龍宮の奢子にもならずに無事に大連に著いたお蔭で、私共が東京にゐちやあ、一生經つたつて足も掛けられない二頭立の馬車かなんかへ納まり込んで、――これだから

▽旅稼ぎの味　は忘られねえ――と妙に嬉しがつた奴さんもあるつてなわけでした。大連では都合七八人で發展しましたね、或る時同勢七八人で支那車へ乗つて威勢よく花街へ行きました。何しろ皆が紋付かなんかのゾロリとした風で繰込だもんだから、どうしたわけか役者と間違へられて、下へも置かぬ大持て、こいつは變だと思ひながら

▽滿更惡い氣　持ちもしない所からすつかり役者になり濟まして、ステテコだの活惚れだの踊りぬいて、その夜は何の事なく納まりの、さて翌る朝になつて誰かが、うつかり扇を落したのが運の盡き、女郎連中嗅付いたと見ゑて、密々話をしてゐたんですがその内に皆が寄つて來て『ハハンだ、役者だと思つたら落語家だよ、ちよいと

▽役者衆なら　もつと綺麗ぢやないの』と來たのにやあ驚ろきましたね、それからの態度はガラリと變つて唾も引掛けない始末。これには一座の一人が腹に据ゑかねたと見ゑて『箆んめゑ、役者だつて落語家だつて人間に變りは無ねやい小汚ねゑ事いふんじやねゑ同じ錢を費つて遊ぶのに何が何だつてやがるんでゑ。

▽落語家樣が　御機嫌惡るくお踊り遊ばすんでゑ。お履物でも直しやがれッ』てわけで止せばいゝのに啖呵を切つて歸つたもんです。から、愈々色男臺なしでした。こんな事はまあ滅多に無いんですが旅藝人の憂さ辛さは茲ですね

御手輕料理　旭町二丁目（著名古屋城横突當り）　蒿かもめ庵　殿待

●料亭殿待開店　蒿かもめ庵は今回殿待と改稱し規模を擴張して旭町二丁目著名古屋城横に入る突き當りに轉居開店せり同店は萬事御手輕を旨とし女將は親切に城館にて客の諒めあれば喜んで彈くといふ

●涼しい西花壇　炎暑の期節に向つて何か涼しい一點張りの西花壇と云ふお茶屋が若草町に川添た庭園が涼しいので之れからの避暑には誂へ向きだと云ふ

天氣　▲七月九日（八日午後六時發）　曇但少雨

西暦七月八日　舊曆六月十一日　日出　五時二十分　日沒　七時五十七分　滿潮　仁川　午前十一時三十二分　午後[illegible]　釜山[illegible]

■新刊夏の讀物　須原啓興社發行新刊廣告

●女優生活　妾の半生（品評四版）　尾島菊子女史序　女優　村田榮子著

女優としての半生の告白は驚くべき[illegible]

大阪婦人　[illegible]

目に睹る如く[illegible]

●新作情話　初戀の女（忽三版）　[illegible]

●新刊　尼になる迄（忽七版）　[illegible]　一會の裏面

慘たる半生に涙溢れ[illegible]論落の涙

女優となるまで　奇しき運命

虚榮と戀

秘密　福原花子

●御目見え廻り（四十八版）　中平文子女史著　特價廿八錢　送費四錢

●女百態（九版）　廣田德介先生著　定價廿五錢　送費四錢

●女學校のぞき（高評忽七版）　婦人記者むらさき女史著　定價卅五錢　送費四錢

●家庭小説　なわすれ草　池川俊三氏著（高評再版）　定價卅五錢　送費四錢

●花柳小説　蝶のかんざし　尾上菊五郎氏序　田村西男氏著（高評再版）　定價六十五錢　特價提供五十五錢　送費四錢

●古今名僧　手紙禪　丸山小林編　定價五十錢　送費四錢

●神童（附太郎）　谷崎潤一郎氏著　山村耕花氏裝幀　定價五十錢　送費四錢

有名の書店に販賣す品切の節は弊發元へ振替郵便又は切手にて御注文あらん二冊以上送費無料　■以上拾冊取扱へ御注文送料共三圓五十錢

發兌　須原啓興社　東京日本橋區濱町二ノ十二　振替東京三〇五〇〇番　電話浪花三二八八

故行實秀吉儀は郷里に於て本葬相營申候就ては明九日午後五時西本願寺にて葬列を廢し葬儀執行仕候間此段生前辱知諸君へ謹告仕候

大正五年七月八日

實兄　岩熊開藏

友人總代　孤淵紋七　飯田茂登雄　荒木助太郎

製品は常に新しくて非常によい、保存の出來る得煉乳にはヒシの印の商標あり。我が政府の奬勵製品

大阪市　桑原伊太郎

藤富

遊漁船　御案内　釣道具　網小賣　芹川漁具店

●自ら棍棒を牽く
商科の生徒
□高等普通學校生□

□花洞の高等普通學校では農科工科と並で商科の科目も設けられてある □併し一人で農科と商科とを二つ選ぶを許されてないが生徒の多くは商科志望が多いといふ □商科の生徒は學課の他に更替で實踐を行ふ實踐室は生徒控所の一隅に在つて先づ學校で必要な筆紙墨から書物手帳類まで販賣して居るが今では各地方の普通學校八十餘校からの注文をも取次いで居る □商品は主に石川物産などの國産品のみを用ゐ猶ほ朝鮮産では李王職美術品製作所の製品なども取扱つて居る □地方からの注文品發送の際には生徒自身が一々荷造りから運賃の計算まで試みて居るが經驗とは餘程[illegible]な經驗になるといふ □また生徒の行商隊は平素市中に出る者と暑中休暇に地方に出掛ける者とあり今年は開城から金剛山方面にも行商する筈 □生徒は初め行商の車を牽くことを甚だしく厭つて居たが今では自ら進んで出かけるやうになつた

●米の御料理 —5—
□米のクロケット(英國式)

△材料 牛肉内ロース百匁、オリーブ油大スプン一杯、小玉葱一個、セレーリー少々、胡椒少々、セレー酒大スプン三杯、米一合、牛乳一合、肉桂粉末少々、鷄卵一個、白砂糖少々

△製法 先づ牛肉を厚さ五六分に切り形の崩れざるやう白木綿の紐にて巻き深き鍋または小鉢に入れセレー酒、ベーリーフ、にんじん、蕪、玉葱等の刻みたるものとサラダ油、胡椒少しをふりかけ二三時間浸して置きそれを食膳に供する前に鍋にてビステキを焼くやうに炙ります、またライス、コロッケは米を牛乳(三分の一)と水(三分の二)の割合にて柔かに炊出來上かけた時鹽少々と砂糖及び肉桂の粉末少々を入れてかき廻して鹽梅し火より下ろして半皿に入れて冷します、さて冷たる處にて丸き餅形となしそれに卵のよく攪拌したるものを著けパン粉をまぶして普通のフライの如く煮立ちたる油の中に入れてフライとし前に用意されたるビステキと共に食膳に供す、猶ほ野菜等はその時節に從ひ附け合すべし(朝鮮ホテル料理方主任談)

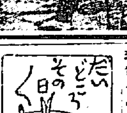
傷病兵慰問の爲め聯合軍に參加して居る英國兵士の爲めに汚れた衣を洗濯して居ります

神社と教會とお寺

○メソヂスト教會(南大門通) 九日午前八時より大島正健氏の說教「國家を守らせ給へ」午後八時半より小西甫太郎氏の說教
○京城基督教會(南米倉町) 九日午前十時より朝拜說教山本牧師の「信仰の明」午後八時半より夕拜說教同牧師の「人心の要求」
○龍山西本願寺(元町二丁目) 八日午後八時より土曜日定例說教あり
○東本願寺(南山) 八日九日兩日午後八時より佛教大學講演會開催、眞宗大學教授河野法雲師、佐田智見師、舟橋水哉師の講演あり
○西本願寺(若草町) 九日午前九時日曜學校
光岡教師の法話とお伽噺「大戰合戰」並に中教師のお伽噺「チエーンクション」あり、夜九時よりは日曜講演、松原總長及び弘中教員の法話あり
○金光教會(和泉町內) 九日午後八時半より例祭執行、式後白石教會長の說教あり
○救世軍の集會 八日午後八時半より本町首出銀行支店前にて石島大尉の「不幸なる人々」九日午後八時四十分より永樂町二丁目本營內にて石島大尉の「我を信ぜよ」
○日本基督教會(旭町貞江通) 九日午前九時より日曜學校及び花の會あり伊藤牧師の「花の說化」同午後八時半傳道說教
○日本基督教會(長谷川町) 九日午前九時より日曜學校、同十時より禮拜說教井口牧師の「愛くると與ふる」と午後八時半より傳道說教井口牧師の「二種の人性」

—△會いろ/\▽—

□京城中學校 八日午前中セベランス病院大島氏の講說あり、午後には府醫赤生課山中主郎氏の衛生講話ありたり
□野球大會 八日午後より京城中學校にて野球仕合あり



回薪田茄子 茄子は陵二つに割り皮をむきて內側になしたるに縱横の布目に切り口を入れなすの半分位の深さまでに庖丁の先きにて切る方よし金串を二本さして手早く胡麻油を烈火の上十分おこりたものに掛く胡麻をかけたるものにて兩面を焼き試に金串にて通し見てまだかたき時は今一度片面に油をぬりて焼き酒にみりん六分の醤油四分位の割にて煮立て其中にかつぶしを少しもみこみて四五個煮立てたるを布巾にてしぼり置き此の汁を前の茄子のやはらかに焼けし處に肉の面のみに二度かけてはやき/\して串をぬき花がきのかつぶしをふりかけて皿に盛る

○訂正 前號味付け飯にハム二片とありしはハム二切れの間違ひ

番茶のあと

花洞の高等普通學校では全校の生徒の理髪を總て學校內で行ふことゝなつて居るが△然も一個月二回の理髪賃は一校二錢位ゐで濟むとは調法である△今年は一錢の理髪賃で廣さ六坪の家が三軒建ち中では生徒の中から選抜せられた床屋さんが美事な手付きでバリカンをジヤキ/\△衛生などは却々やかましいが時には鳥渡耳のあたりを失敬されるともあるとか

南山菫の花と蛇の恐れる南山蛙
□どちらも日本內地に見られぬもの□

◇南山菫は昨今鉢植などに愛玩されることゝなりました、此の花は曾て伊藤公が統監として倭城臺に居られた頃評判となつたので一時は統監菫などとも呼ばれました
◇花は春の四月頃から五月の初めつ方まで咲きますが白色に薄青い筋の通つた可愛らしい花で匂ひは殊に強いやうです
◇近頃中央試驗所にては此の花から香水をとる計畫もあるとか聞きましたが全くよい匂ひが致します
◇鉢に植ゑると宿根草ですから翌年も赤芽を出しますが花が散ると俄かに驚く程な大きな葉となります
◇葉は楓の葉を細かく割つたやうで鳥渡內地にある肥後菫に似て居ますが全く內地では見られません
◇猶ほこれと似たものには高麗菫菊葉菫などがありますがこれ等は南山菫の變種で匂ひがありません
◇次ぎに南山蛙は赤腹蛙といふのが眞當で京城では絹蛙、忠北では紅蛙、咸鏡道では唐蛙と呼んで居ります
◇これは何れも其の腹が深紅で守宮のやうに赤と緑の斑紋があるからです
◇また背中は暗緑色で上に柔かい少い疣がありそれに觸ると毒汁を分泌します
◇若し毒が人の眼に觸れるとか又は傷口にでも附けば忽ち紫色に變じて腐つたやうな皮膚となり且つ激しい痛みを感じます
◇それで此の蛙を蛇の中に置いても蛇の方から逃げ出す程で赤腹先生はまた大威張りに胸を突き出し四肢を折つて自分の腹の紅いとこ ろを蛇の眼前に突き出すのであります
◇これは進化論の謂ゆる警戒色なるもので「俺を喰べると毒がある」といふことを敵に知らす方便であります
◇南山蛙は田圃の中には居りません普通は山の谷川などに棲ひますが毒の爲めに敵が無いから盛んに繁殖して北は滿洲、西比利亞から朝鮮全土到る處に居ります
◇併し內地では對馬の他全く居りませんが獨り對馬に居るといふをは動物分布上面白いと思ひます、鮮人は此の蛙を肺病の藥にするとも云ひます(高等普通學校教諭森爲三氏談)

商況

東京株式特電

八日	前場寄付	大引
日本郵船	三八、〇〇	三八、八〇
京城電氣	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同新	—	—
日本製麻	—	—
東株	—	—
東株新	—	—
東新第一	—	—
東新第二	—	—

債券現物特電

八日	値段(前日との比較)
東京市債	六一、〇〇
東洋拓殖	—
京城電氣	—
朝鮮銀行	—
朝鮮瓦斯	—
南滿鐵道	—

公債直取引特電

八日	値段(前日との比較)
東京	九六、二〇
五分特	—
五分利	—
一回四分	—
二回四分	—
甲五分	—

深川在米特電

八日	在高
朝鮮米	五九、二四〇
暹羅米	六五、九三二
內地米	一八七六、八六三

東京期米特電

八日	前場	後場
寄付	[illegible]	—
高値	[illegible]	—
安値	[illegible]	—
止め	[illegible]	—

大阪株式特電

銘柄	前場	後場
阪神電鐵	[illegible]	—
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

大阪期米特電

八日前引	前場	後場
七月限	一三、八〇	一三、六九
八月限	—	一三、六九
九月限	—	一三、六〇
十月限	一三、七、〇〇	一三、七一
十一月限	一三、七、〇〇	一三、七四

下關期米特電

八日前場	當限	中限	先限
寄付	一三、四九	[illegible]	[illegible]
高値	一三、八〇	[illegible]	[illegible]
安値	一四、三〇	[illegible]	[illegible]
止め	—	—	—

雜報

●銑鐵稍下押 [illegible]
●一般相應の安値を報 [illegible]
●製粉は好勢 [illegible]
●引締る小麥相場 [illegible]
●同様の態度 殆ど賣止め [illegible]

●新小麥 新小麥は北部里院物あり入荷ありたる見込にて[illegible]
七十錢 同驛乘りの五圓 [illegible]
●新昆布走り 本年の新昆布走りとして入荷の著なる南部産拾ひメヤゲリは日下輸送途中にあれば不日仁川港へ到著すべく値段は八百五十圓なりといふ本年の採取狀況は頗る良好に影響せられつゝあるも需要は比較的強硬なりといふ 仁川沖著
●成北若布好況 成北方面に產する若布は從來主として安邊方面を需要地とし當地には鮮人商人の入荷なきも本年は[illegible]
●鹽鯖不式合 [illegible] 三錢八厘乃至四錢處 [illegible]
●罐詰類は不味 [illegible] 材料の新品出廻 [illegible]

下關相場 [illegible]

㊀利 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話六二五番 [illegible]

京城正米

△朝鮮一等白米	十三圓八十錢
△同	十四圓
△同(常用)	十三圓九十錢
△同二等白米(常用)	十三圓六十錢
△同	十三圓二十五錢
△元山大豆(渡上)	十四圓三十錢
△新義州大豆	十四圓十五錢

南大門の廻穀 [illegible]

仁川現物市場 [illegible]

釜山穀物市場 七日 [illegible]

三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 [illegible]

仁川期米
▲八日前場 四圓三十錢と昨止より十九錢下放れの入電 一節三十一錢と變移り大阪八節二十五錢九十六錢と高移 [illegible]

市場雲聞
▲一變強硬 [illegible]
▲忽ち強硬の場面に變じ [illegible]
▲大阪一押し豫期した人氣の先走り [illegible]
▲前場の手振り [illegible]
▲人氣動搖す [illegible]
絕好の押目 [illegible]
大天災期上停止中なる當限の間 [illegible]
題横目 好押目乎否乎 [illegible]
至底入と豫測し目先天井とか [illegible]

田中合資會社 電話一五二番 [illegible]

▲闇黒の常限 [illegible]
七萬餘石の大取組 [illegible]
頗る苦心渡し米の蒐集に [illegible]
裏面の策戰は一層激烈を加へ [illegible]
此一事目先の問題は掛つて [illegible]
▲正米近況 [illegible] 十四圓三十錢見當 大阪沖著
へ正米又前月の安値約一圓高 [illegible]

仁川米豆取引所
八日の九月限

寄付	十二圓十五錢
止め	十二圓十九錢一
高値	十二圓二十一錢
安値	十二萬千百五十石
出來	[illegible]

賣買取組高

七月限	五萬二千五百五十石
八月限	五萬七千八百五十石
九月限	三萬七千二百石

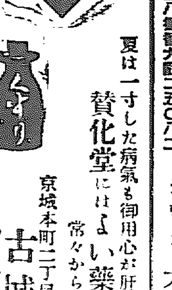
北濱だより
▲株式界氣迷ひ [illegible]

小賣白米

一等白米	十五錢
次白	十四錢五厘

祝仁川支局發展 仁川宮町 鈴木裁縫店
祝仁川支局發展 醬油味噌釀造 仁川花町三丁目 山崎好藏
祝仁川支局發展 仁川 鹽田治平
祝仁川支局發展 仁川仲町三丁目 開春軒支店
祝仁川支局發展 仁川山手町 野田齒科醫院
祝仁川支局發展 履物商 仁川新町 村上支店
祝仁川支局發展 仁川 藤田定二
祝仁川支局發展 產婆 仁川宮町 上田操
祝仁川支局發展 仁川宮町 森沖齒科醫院
祝仁川支局發展 仁川 久保田幾之助
祝仁川支局發展 一漁具類切 仁川海岸町三丁目 池末商店 電話八百七番
祝仁川支局發展 釣道具卸小賣 仁川海岸町三丁目 芹川漁具店 電話七五四番
祝仁川支局發展 小間物雜貨商 仁川本町三丁目 古田商店 電話六四二番
祝仁川支局發展 陶磁器卸商 仁川仲町三丁目 陶榮支店 電話四三二番
祝仁川支局發展 菓子商 仁川本町二丁目 龍榮堂 電話一五五番
祝仁川支局發展 酒商 仁川花町二丁目 上城谷吉 電話七五八番
祝仁川支局發展 織物商 仁川宮町 壽秋兵太郞 電話三三一番
祝仁川支局發展 陶器商 仁川新町(電話四一七番) 岩崎久治
祝仁川支局發展 傘提灯商 仁川宮町(電話四二八番) 小紫商店

●大聲蓄音器大景品附大割引責任販賣
本機は機臺の直徑曾尺五分高さ五寸五分喇叭口徑曾尺四寸の大形にて構造キング式原動機にて音律正確發聲明瞭なる大型優秀品なり御希望の方は「ハガキ」にて申込次第荷造附にて送る若し不良の節は責任を以て無割引他品交換又は返金す
景品 壹臺金八圓五拾錢
▲音譜特製品[illegible]
◎近頃玩具的蓄音機を誇大に廣告し[illegible]
大阪市東區上本町五丁目停留所南入 發賣元 大阪蓄音器商會 電話南一二三八番 振替大阪一二五〇八二



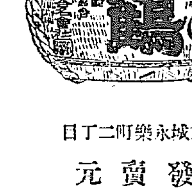
夏は一寸した病氣も御用心が肝心 贊化堂にはよい藥があります 常々から御心掛下さい
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

旭旅館發展廣告
一、家屋客室 改造 一、疊建具 新調
一、夜具蒲團 新調 一、膳椀茶碗 新調
一、室內裝飾 新調 一、女中料理人 新撰
總而新生面を開き懇切丁寧御來客樣御家庭に在せらるゝと同樣の御快感を得るを理想とし大勉強を以て營業仕候間是非御投宿の程偏に奉懇願候 頓首
仁川 旅館 旭 主任 莊野孝吉 電話二五一番
書畫骨董は從前之通仕候

靴墨界の覇王(英國製)

內外到る所の靴店洋品雜貨店に於て販賣す
東京市本所區原町二丁目八番地 長瀨商店東京支店雜貨部

遊漁御案內
仁川仲町三丁目(電話三五番) 仁川用達會遊漁部

優等清酒


京城永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話六五四番 振替京城二〇六番

中元御贈答品は食料品か
商品券が尤も輕便で經濟的であります
本年は元產地より種々珍品取集め極力大勉強致し居りますしんどが利のたとへで一度の御來觀を希ます
海陸產物 富貴味噌 婚具神佛用品
京城本町三丁目 ㊄森川食料品店 電話(三一九番 三三五番 三一〇七番)

力士新戸の三名は東京地方裁判所檢事局に召喚され長時間に亘り清水檢事の取調べを受け七時半歸宅を許さる

宮本武藏

第九十三回 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

後れ走せに參つた友景が、之を見て友『典膳何うした典膳』迄まで參つて、殘念ながら見失ひました 友『ヤレ殘念な事をした』と四邊を見廻して友『ウム、彼奴那へ隱れて居るな、典膳彼方を見よ、アノ籠桶が列んであるが、三番目の籠の中へ隱れて居るぞ 典『何うして籠の中に居る事を御存じで 友『見よ、那の籠がすいて居る、急場の際へ、那れへ隱れたに違ひない、早く參つて打捨ろ 典『是まりました』と典膳は其へ進み、瓶へ手を掛け、返さうとするから友景は 友『コレ〳〵典膳、麁忽を致すな、瓶を返せば中よりして浜打に足を拂はれるぞ、瓶を返しては往かぬ 典『然らば如何致して、瓶の中に居る者を 友『日頃汝に敎へ置いたる、鐵切の一刀は何の爲めぞ、瓶諸共に切て終へ』と友景は突て居たる杖を以て瓶の底をズーッと引いた、此時神子上典膳は一刀を上段に振被り、萬一仕損じなば師の怒りに觸れる、ト云ふものの此の瓶が尋常にて切れべきものでない、人力の及ぶ處でない、神の力を頼んと、弓矢の神を心に念じ、切らしめ給へと典膳は瓶の底を睨つて典『エイッ』と大喝叫んで切下ろす一刀、瓶の底を眞二ツ、中に居つたる小野善鬼の眞向より鼻柱へ掛け胸の邊りまで血煙立つて割附けた、ギヤツと叫んだ一聲は此世の別れ、善鬼は其儘死んでしまつた、友景老人手を打て感賞し 友『イヤ典膳出來した之れ善鬼、汝れの罪、汝れに歸るさは此事だ、早く三巻を取上げよ』といはれて典膳は手早く善鬼が左りの手に掴んで居りし三巻の秘書を取り上げんとしたが、善鬼の一念に凝りしか、堅かり掴んで放しません、此時神子上典膳は、善鬼の屍體に向ひ、典『嗚呼御無念に在すらん、なれど此の三巻は典膳にお授け下さるやう御身の忘日を弔ふは勿論、今日より神子上の姓を改め小野と名乘り、名跡を繼で志を立つべし』と生ける人に物言ふ如く、スルと善鬼が握つて居た三巻をバタリ其へ落しましたから、典膳之れを取り上げて押戴き友景に渡せば、老人は之を受納め、一先づ閑居へ引上げたが、善鬼の死骸は寺院に葬りまして、扨改めて右の三巻の秘書は友景手づから典膳に遣はしまして、茲で神子上典膳は小野治郎右衛門忠成と相成りました、之れより數日を經て友景老人は次郎右衛門に向ひ 友『扨て次郎右衛門、兼々其方にも申聞けたが、徳川家康公より一萬石の御墨附を賜はり、師範役に御附けられし處、我は辭退して、目鑑に叶つた者を差出さんと、當[illegible]置いたが、多くの門人を取立したが、其任に當るは其方一人、依て右の墨附を汝に遣はすに依て、之より駿府へ罷り越し、當時大御所駿府城に在らせられるに依り、願ひ出て、徳川家へ御仕官を致すべし、忠義を勵み、適れ家名を擧げよ』と仰せの時、治郎右衛門は涙を流し 治『承らくの間先生の御側に附き居りまして行き仕合せ、何卒先生も道中御不加減の様に[illegible] 友『イヤ〳〵拙者は[illegible] ふ餘ホンの暫かである、私の事を思ふて呉れるは忝けないが、少しも早く出立致すやう 治『左樣なればお言葉に從ひまして、明日出立致しまする

書画用 絖絹 京染呉服商 たきや出張店 京城水樂町 電話一一九六番

[illegible] 治『ア、道中氣を注けて行きなさい』と、治郎右衛門は謹んで挨拶を述べ、支度を調へ越前敎賀を出立いたし、江戸表へ乘込んで參り、四五日見物をして、其より又々東海道を上り駿府を差して參りました、徳川家康公は當時大御所と稱して、駿府龍頭山露臨城に在らせられまする、小野治郎右衛門は先づ御城下傳馬町の萬屋といふ旅籠屋へ著いて泊り翌日衣服等を改め、御城内へ罷り出で御用御取次本多上野介殿方へ右の墨附持參の上、願ひ出でました、此本多上野介は、本多佐渡守正信の子息で、其頃駿府城内では利者でござい ます、早速治郎右衛門に對面をいたし始終の話を聞いて、此事を家康公へ申上げる茲で治郎右衛門お目通りを致しまする。

齒科重門 京城本町 大正齒科醫院

京城本町三丁目 今村醫院 内科小兒科 外科 産婦人科 各科分擔 診察午前九時より午後九時まで 電話一八三一

[illegible]

七月十日九星 舊六月十一日戊申 本命一白北除佛滅

▲一白● 物の沈滯を意味する日新事見合 神佛の方は吉 暗劍北▲二黒● 姑息極まる那有る日新事手控へ依事は吉 貸金請印等なす可らず▲三碧● 公明な大の日轉居旅行入學多出 求職 山漁婚禮試驗名弘求職命件探師 絲糸關係物出業等は吉▲五● 四綠● 悠揚たる日轉居旅行入門 な受ろ事萬吉▲黄● 不自然の事有る日新事手控へ訴事は古備生に調へ女子の望外の幸福を得る事萬進で利有▲七赤● 善心の起る日轉居旅行は吉 殊に慈善 財團を起すに妙 借入來る▲八白● 悠揚途を生ぜず注意新事手控 訴事は吉一切のかけ事を禁ず▲九紫● 反對論の非有る日 新事手控訴事は吉 [illegible]

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

七月五日より特別大興行 ○實寫 [illegible] ○大冒險大活劇 ハートの3 第二回目 [illegible]

黄金館 七月七日より特別大興行 大々好評 第二名金 第三編 第四編 [illegible]

壽座 本町 電話五七八 [illegible] 新派悲劇 想夫憐 全三卷

御成座 電話一九一 [illegible] 悲劇 人肉質入裁判 全五場

大好評!! 連日滿員 世界的連續最大雄編 ハートの3 義士劇第四編 間重次郎光興 夜間七時より開演 大正館

東京落語三遊亭遊三一行來る 明治町 電話二六〇番 浪花館 [illegible]

黄金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下) ○七月七日より特別大興行 ○伊太利アンブロジオ會社 [illegible] ○新派大悲劇『想夫憐』全三卷 [illegible] 世界的名篇 [illegible]

月やく 月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい 才能に害なく通經する良法速に御知らせ致します 東京神田錦町三ノ一九 焼田けい子

ニキビ そばかす の爲め困難の人はハガキにて照會あれ最も手輕に治療し得る効力なき良劑を懇切に紹介す 東京市向島小梅町 平澤藥院

りん病 消渇で困る方 多年の慢性 自宅にて人知れず安全秘密に治癒す 良藥わり只一劑を試よ 切手三錢送れ 其良藥と自宅療法の詳細を報ず 名古屋市 [illegible] 武藤昌吉

わきが治癒良劑 わきがは良縁出世交際を妨げ人に不快を感ぜしむ 即刻治療されよ 清腋散は幾多經驗の良劑なり 故にわきがも治癒せしむる事請合 慢性重症も試み給へ 用法簡便 八拾錢二圓五十錢 送料各四錢 切手不苦 本家…名古屋廣小路通…小林盛大堂

特効新薬 かつけ 陸軍一等軍醫正 ドクトル 都築甚之助氏發見 日、米、獨、墺 專賣特許 アンチベリベリン 用法は……内服ミ注射 目的は……豫防ミ治療 常用は……萬全の上策 注射は……衛心の救急 適應は……かつけ一切

定價 [illegible] 發賣元 南信堂藥局 東京市麻布區 說明書送呈郵券二錢 代理店 京城本町二丁目 木下不老堂

特効新薬 かつけ M EP 名聲天下普及 コヨマリ 大阪唐物町四丁目 [illegible]

滋陰 田春丸 陰萎、神經衰弱の患者は是非服用せられよ 一週分七拾五錢 三週分貳圓 送料一個二錢 東京銀座 岸田吟香 振替四七八 電話京橋六七番 一五

登錄商標 瓢水味淋 堺 鳥井釀 專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

比較

ロート目薬と他の目藥とを比べ玉へ

品質の優劣良否を判斷する一番の早道であります、故に

ロート目藥と外の目藥と異る特色

(一) ロート目藥は眼科を以て有名なる東京眼科病院長醫學博士井上豐太郎先生の處方に係り大酌藥學士の特製なれば患者は安心して用ふることを得

(二) 病眼を不潔の手布等にて拭ふは惡し故にロート目藥には此圖の如き消毒したる布を添ふ

(三) 點眼器は鋒の尖りたるは目に危險なりロート目藥には新案の點眼器を添へたる故少しも危險の恐なし

(四) ロートはシユマず痛まず故に小兒にも容易に用ふることを得

商標 井上博士ノ ロート目藥

何ぜこんな目藥が出來た

第一 醫學と藥學は年々進歩して行く故後から出來た物は自然に善い物が出來る道理であります

第二 後から出來た物は先に出來た物よりは善い物で無くては今日の世の中で競爭は出來ぬ

効能 一切の眼病に用ひて他の目藥で及ばぬ効能あり 但しソコヒには効なし●善は急げ直ぐ試み玉へ

定價 徳用大瓶五十錢 中瓶廿錢 小瓶十錢

東京日本橋本銀町三丁目 山田安民藥房

大阪南久寶寺町二丁目 山田安民藥房

全國各藥店に請賣す若し無き時は郵送す

男の生殖器病

生殖器發育不完全で包莖とか陰萎、交接不快、快感減少、腦神經衰弱なぞの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を原因療法を併用する時は頓時効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其偉効を證明し實驗諸氏の實謝狀が如しハガキで申込あれ圖入說明書無代贈呈す直接來所者には醫院部にて懇切に說明す ▲大阪廣告者に請は御面談に應ず

東京神田かじ町五 電話神田七二二番 東京眞空療法研究所

コレデ心地よく眠られます 蚤、南京虫には 登錄商標 猿印 のみとり粉

うるさい蚊には 登錄商標 猿印 殺蚊線香

効力確實醫科大學證明 内外國博覽會賞牌受領

製造始祖 上山靜藏 鑑製 販賣處 各地特約店

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話專用三二七一・三二九番

無双醇良清酒 無害衞生 品質無双 登錄商標 有薫 首藤合名會社吟造 精白米御小賣 キリンビール サツポロビール 醤油 龜甲萬 シトロン 三ツ矢 布引 サイダー 各種 朝鮮發賣元 首藤京城支店 黄金町(電話一一七一番)

銚子港 田中玄蕃釀造 ヒゲタ醤油 代理店 櫻正宗發賣元 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替口座京城七五番

京城日報 第三版

九日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 ……
廣告料 ……
發行兼編輯人 與田直
印刷人 小川三之介
發行所 太平通一丁目 合資會社京城日報社

京城論壇

朝鮮人の人種的特徴

醫學博士 久保武

私の專門は體質人類學及び人種解剖學であつて是れより外には何にも述べる事が能きない。ソコデ私が茲に朝鮮人の人種的特徴など述べ立てゝ内地人との間に區別隔壁を設くる樣では甚だ穩當を缺ぐ如うではあるが、實は日本内地に於ても既にアイノ、琉球、臺灣あり、其他九州、四國、北陸、關東、關西等各地方／＼に由り體質又は疾病上に就ての研究がされて居る。然るに朝鮮に於ては此種の研究は今日に至る迄殆ど絶無の姿であつた。朝鮮の政治も朝鮮人の醫療も其の體質及び性格を充分に理解した上でなければならぬ事は論ずる迄もない。故に私は只私が專門の學問上より觀察して忌憚なく茲に朝鮮人の體質的特徴を述べて各方面の參考にして見たいと思ふ所以である。要するに私の調べた結果に依れば朝鮮人は歐洲人に比し種々特殊の差異があり、又支那人に比する時は日本人に比した差よりも甚だしい。換言すれば朝鮮人は最も内地人と近似して居ると云ふ事なり。若し朝鮮人と日本人との間に相違ありとせば如何なる點にあるかを明かにし、同時に此の民族の教育上又は醫療上余程の研究が多少とも參考にならば結構の事である。前にも述べた通り、從來朝鮮人に關する體質的研究が甚だ稀れであつて、殊に人種解剖學的方面から朝鮮人死體に就て研究せるものは今日迄殆んど全く無かつたのである。予は明治四十年から約三千五百の男女朝鮮人の生體に就て研究し其後又多數の骨格及び死體解剖をした。今此業蹟の内より特に朝鮮人（生體）の形態に就て極めて簡短に且通俗的に述ぶれば先づ一般に朝鮮人の身長は日本人に比べて大いが男の一六四五糎米以上及女の一五二五糎米を越す者は稀である。而して男は平均一六一四女は一四七三となる體重は五百五十二名の男子の平均は五五、六二四、女子百四十四名の平均は四九、九五三瓩となる。之れを日本人に比ぶれると男は普通の男に比して稍々大きいが、女は之に反して日本の女よりも僅少となる。即ち男は日本の男子よりも少しく大なる身長と體重とを持つて居るが、女子は身長は日本女子よりも僅かに大きいが、體重は却つて僅に輕いと云ふ事になる結果、朝鮮の女子は男子に比し體格が薄弱であると云ふ事が判る。次に頭に就ては五百五十二人の男の頭の長徑を計るに平均一八一、四糎米、女子百二十名の平均は一四六、三である。日本人に比べると男は稍な小さく女は日本の中上流の女子に比して少しく大きく、下流の女に比して比較的長徑が小さい。頭の幅徑は男子平均一五〇、九糎米女子の平均は一四六、三糎米で日本人に比して幅廣き型を呈して居る故に朝鮮人の頭の形は日本人に比し短廣で所謂短頭型（一名廣頭型）に屬するのである。質に朝鮮人の頭形の（短頭型）なる事は既に生體に付き外觀上容易に認知し得べき程著明なり。頭の地平周圍は男女共に日本人に比べて稍小さい。顏は男は日本の上流及び下流者に比べて小さく、女子は日本の上流及び中流者と殆ど同じく、下流者よりは少し大きい。ベルツ氏は日本人の顏面の高くして長きを以て人種上一つの特徴として居るが、朝鮮人の顏面も亦比較的高く長く日本人に近似して居ると云ふ事が明かである。觀骨弓幅即ち顏幅は日本人に比し確かに幅廣く女子は男子よりも小さいが比較的幅廣の方である。一般に朝鮮人の顏の比徑は日本人よりも大きく即ち朝鮮人の顏は日本人に比し高徑よりも幅徑に於て遙かに大なる（所謂低型に屬する）のである。朝鮮人の眼裂は日本人に比べて狹くして長い形を示し、又眼と眼との間の距離の廣い事も此民族の特徴の一とすべきである。鼻の高さは日本人に比して低く、其の代りに幅は大きい殊に女子の鼻の幅徑は比較的大きい。又日本人に比して口が大きくて耳が小さい。次に頸は何うであるかと云ふに朝鮮人男子の頸は日本の勞働者に比し細長いが、之れは肩胛の形が著しく傾斜して居る事も亦其の一原因に相違ない女子は之れに反し男よりも頸が甚だ短かい。朝鮮人の肩幅は男女共に日本人より狹いが此の肩幅の狹い事も亦此の民族の一特徴である。朝鮮人の胸圍は日本人よりも稍々大きく而して胸廓の大なることは横徑よりも前後徑の大なる事に基因して居る。而して肺活量は胸圍の大きいのに準じて日本人に比して概して大きくある。腹部は外觀上其の多くは前下方に膨れ出して居る。腹圍は日本の上流者及び學生に比して遙かに大きく、只勞働者に比べて僅かに小さいばかりである。次に軀幹の長さは男七十三名の平均は五三八、二糎米であつて、身長の三三、三三%に當つて居る。ベルツ氏は日本人の軀幹を脚長に比較するときは甚だ長く歐洲人に比し、遙かに超越して居る事を以て一つの人種的特徴として居るが、朝鮮人に就て之れを檢べて見るに、又日本人に於けると同樣に歐洲人より比較的長いと云ふ事を知り得た。下半身（地床上恥高）を上半身（顚頂…恥）と比較すれば上半身は歐洲人に在つては僅かに下半身より小さいのであるが、朝鮮人は日本人と同じく全く之れに反し上半身長より大きい事になる。又朝鮮人の脊柱は一般に日本人の如く長くはないが歐洲人に比ぶれば稍比較的に長い。腸骨櫛間距離は男子は日本人に比べて僅かに廣く女子は之れに反して日本の女子よりも甚だ狹い。前上棘間の距離は日本人よりも遙かに大きい。大轉子間距離は男子は日本人と殆ど同じであるが、女子は日本の女子よりも大きい。外結合線は日本人よりも著しく大きく殆ど歐洲人に讓らざる如き事も注意すべき點である骨盤周圍は日本人に比べて稍々大きく骨盤傾斜角度は男子平均四十八度六分で日本人よりも大きく歐洲人よりも稍々小さい如うである。要するに朝鮮人の骨盤に就て外結合線の大なるは最も著明の點であつて其他腸骨櫛間距離及び大轉子間距離の多少大なりしに準じ、朝鮮人男子の骨盤は一般に比較的日本人よりも小さいと云ふ事を知り得る。之れで軀幹の大體に就て述べたから之れから四肢に就て述べて見ると上肢の長さは男子五百五十一名の平均が七一〇九糎米女子百四十四名の平均は六四四、七糎米半であつて、即ち朝鮮人男子の上肢長は日本の勞働者よりも稍短かく、上流者及び學生に比べると長い事になる。女子は日本の中流者に比べると同じ長さで上流者及び下流者よりも稍々短かいと云ふ事を知つた。上腕長は概して日本人に比して大きく、前腕長は日本人の上流者及び學生よりも長いが勞働者に比して甚だ短かい。要するに朝鮮人の上腕の長さは日本人よりも大なりし程前腕の長さは大きくない。朝鮮人男子の上腕及び前腕圍は日本の上流者學生に比し殆ど同じであるが、勞働者殊に兵士に比する時は遙かに小さく左右兩側に就ては右は左よりも稍々大きい。手の長さ及び幅は共に日本人に比して小さいが、殊に幅に於てよりも長さに於ては著しく小さい。即ち朝鮮人の手は日本人の手よりも短かくして幅の廣い形を示して居る下肢は身長との比較上支那人歐洲人よりもより多く日本人に近い關係を示して居る、即ち朝鮮人の下肢長は日本人に於けるが如く身長の半分に比し常に短い是れ亦人種的の一特徴であらう。大腿の長さは一般に日本人に比べると短かく、膝蓋骨上緣より外踝迄即ち下腿の長さは上腿に反して日本人よりも長い事を示して居る。大腿長と下腿長との關係を比較するに日本人は兩者の間に著しき差異が無く、而も大腿長は常に稍々長き傾向を示して居るが、朝鮮人に在つては之れに反して下腿長が大腿長よりも長いのである。要するに日本人の下肢長が上半身長との比較上甚だ短かきが如くあるのは主として下肢殊に下腿長の短かいのに由來して居るらしい。ベルツ氏に由れば日本人の大腿は下腿より多く長いと云へるが朝鮮人は之に反し大腿長は下腿長よりも多少短い事を知り得たのである。大腿の周圍は左右共に日本人よりも大きく殆ど歐洲人に近い。左右兩側に就ては右は左よりも稍々大きく下腿の周圍は日本の勞働者は著しく大きいが上流者及び學生は朝鮮人に比して一般に稍々小さい如うである。而して右は左よりも僅かに大きいやうである。足長は男は日本人に比べて僅に小なるが、女子は絶對的及び比較的共に甚だ小さくある足幅は男は日本の學生及び上流者に比して大差なきも下流者に比べる時は遙かに小さく、女子の足幅は絶對的比較的共に著しく小さい事は最も特殊なる點である。足長と足幅との關係を比較するに朝鮮人の男の足は一般に狹く且つ比較的長き形を示して居る、而して女子の足は絶對的小にして極度の狹足を現はして居るのは最も特徴すべき點である。最後に頭髮の横斷面に就て一言せば長徑は日本人に於て最も大となり支那人に於て最小となつて居る、然るに短徑は全く之れに反對の結果を呈して居るが朝鮮人の頭髮の横斷面に於ける長短兩徑は前二者の中間に位して居る。即ち頭髮の横斷面が支那人にありては廣き楕圓形を呈し日本人に在りては狹き楕圓形を示し朝鮮人の頭髮は其の中間に位するのである。

城壁文學

小田省吾

（第五）世宗期都城修築

太祖五年都城を築造してより僅かに二十六年、第四代世宗王の三年に至つて都城修築の議が起つた。記錄に依ると此の時既に石城の傾頽する處三千九百四十六尺、土城の傾頽する處二萬五千五百三十五尺行つたとある。即ち石城の傾頽は最初太祖の時造つたものゝ二割弱に過ぎなかつたが、土城の破損は六割強に及び、兩者全體の破損を合すれば約四割九分であつた。以て太祖期急造の都城が永久的に頑丈なものでなかつたことが解る。三代目の太宗芳遠は非常の英主で、李朝の初政は此の時に整備したのであるから、四代世宗の時に及んで都城を半額の儘に捨置けぬのは尤の次第で、實は此の時都城修築の企をしたものも、矢張當時隱居の身であつた大上王芳遠其の人であつたのである。是に於て其の修築は石城にするか土城にするかについて議論があつたが、結局修築の箇所は全部石城にして萬世長久の計を書すべしとの論が勝を制して其の方針を實行した、換言すれば、太祖期都城の約四割九分は此の際皆石城に改築された譯である、是れ即ち今日まで多く世宗期城壁を存する所以であらう

（一）都城修築都監の設置

世宗三年十月十三日を以て都城修築都監を置いたのが實行の第一であつて、太祖期の都監の役人には判事、副判事があつたが、此の時には都提調及び提調を置き、其の下には前回と同じ樣に使、副使、判官、錄事を置いた。都提調、提調は專ら事業經營の事を掌り、使以下は此の時も工事の監督の責に任じたのであらう。されども都城修築都監は單獨に事業經營の方針を定めたのではない。是は即ち都城修築の實行機關であつて大體の方針は都提調、提調の外、左右議政、漢陽判府事、工曹參判（工部の次官）等が會議して決定したものである。而して役員の數は都提調（即ち總裁）の下に提調三十三名、使、副使、判官、錄事併せて百九十人あつた。

（二）軍丁の徴發

太祖期都城築造の時と大に異つて居るのは世宗期修築の時は諸道の軍丁を徴發使役した事である。軍丁といへば總ての軍卒を指す名稱であるから、兵卒を使役して築城した樣であるがさうでない。又朝鮮では軍人でなくとも支架軍、人力車軍などゝいふことがある。併し此處では其の軍でもない。是れは實錄を調べて見るとよく解るのであつて、此の時は軍丁中の奉足及び雜色といふものを役使したのである。奉足とは何であるかといふと、是れは軍兵の下に使つた補助者の名稱であつて、少し後世の事になるが仁祖の時に、軍兵をして各其の族籍、隣里又は公私賤民等の中より一人を望んで奉足と定めしめ、一年に租米七斗を給し、一には下暇の番をして糊口の途を得しめ、一には豪家に寄食して居る閑散無賴の輩を驅出して奉足を志願せしめ、遊衣徒食の弊を救はんとした事がある。（增補文獻備考）今日の詞でいへば、軍隊の如きものであらう。當時軍備も稍々整つた頃であつたから、全國を通じて其の數も隨分澤山あつたものと見える。雜色とは何であるかといふと、大典會通にも見えて居て書吏、壽員、醫生、律生、守陵軍、守護軍、藥夫、津夫、水夫、牧子、公私賤等の類を指すのであるから、主として軍隊に附屬して居つた下層の技術者の事である。思ふに此の方は人員も多くはなかつたであらう。

日報俳壇

緋子郎選

姉の肩險しく老いし袷かな　篠黄子
夏蝶や水ゆたかなる牧場草　同
儀禮しておれし日を戀ふ金魚哉　同
主在りし樣かへぬ室や若楓　同
若楓暗さつゝみて社殿の扉　同
若楓門ドをすぐある山の墓　東村
夜に入ば山氣此く寄し若楓　同

送別

紫陽花に又偲ぶ君と極まれり　同
花葵見なければ隣兒我子とも　雉子郎
瓦斯の灯や桶の金魚の色選び　容堂
夏帽の兵に寢かれし往來哉　同
家陰に莫蓙敷いて縫ふ葵哉　同
鍬提げて氣付く地冷や花葵　同
人寄らぬ間の茶話面白し花葵　北星
袷著て持て來しが本の讀みとなる　同
濡蓋や地軸動けど山靜か　同
夜氣知りて深く沈みし金魚哉　秋汀
濡蓋や水飲む袖に山氣濃し　同
撫子や故郷戀ひ止まぬ雨の緣　琴亭
船材を運び靜まれば雲の峰　桐裸丘
水泳や疲れ果てしが島近し　里將
日盛や比叡を離るゝ根なし雲　丘山
夏帽の兒は持ますず採れる鋤　潮外星
紫陽花の影に靜かなる金魚哉　星村
餘花の窓行李干しつゝ憂哉　合歡女
夏帽や林間政授趺座正座　雉子郎

大阪期米特電（八日）
▲後場下鎚ろ
▲朝鮮米

商業登記公告
京城電氣株式會社取締役白寅基ハ大正五年六月參拾日住所ヲ左ノ所ニ移轉シタリ
京城府樂園洞武百八拾參番地
右大正五年七月六日登記
商號新設
商號熊野商會、營業ノ種類材木商、營業所京城府古市町拾四番地、商號使用者ノ氏名住所同所松本豐作
右大正五年七月七日登記
京城地方法院

京城壽座前 電話二一七二
振替口座京城二三六七番
値段勉強 地方は送料頂きません

朝鮮彙報
朝鮮彙報 大正五年七月一日（定價貳拾五錢 郵税二錢五厘）
口繪
鬱陵島の風景
晋州公立普通學校の記念竹林
高山植物（三色版）
主要目次
朝鮮の高山植物……城覆審法院長
臺灣視察談……關屋學務局長
地方金融組合の現況……入江度支部理財課長
國境地方の氣候……平田觀測所長
朝鮮の園藝植物「犬屛風」に就て……中井理學博士
◎大正五年度地方費豫算の梗概◎篤行者事績◎大阪對朝鮮貿易◎東京に於ける朝鮮米の概況◎五月中の朝鮮貿易◎朝鮮各道主要農産物及工藝品◎麥作豫想◎輸出飲食物罐詰の取締◎稚蠶共同飼育成績◎蔬菜實收高◎私營養苗事業成績◎五月中の鐵道運輸◎朝鮮の船舶◎內地學校視察報告◎補習教育施設◎私立學校教員檢定受驗用參考書◎中等程度學校及私立學校入學者◎火災の損害及原因◎船舶遭難◎不動產登記令の施行並登記所の設置
□文祿の役に於ける加藤清正進軍路の一部調査……小田文學士
▲東洋の文化▲歐洲大戰の經過▲新設露國ムールマン鐵道▲浦鹽市の人口▲露國兵士の耕農▲露國禁酒の效果▲沿海州內に於ける信用組合の成績▲英國人愛國組合の設立▲地方通信▲雜報▲質疑應答▲叙任及辭令▲統計▲法令及判決例
□朝鮮語の研究……新庄通譯官
▲投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日
▲販賣店 東京神田巖松堂、朝鮮各地の書店に販賣す
▲廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

GONOSALVIN
白檀油代用藥
ゴノサルビン
内服治淋劑として其効果を公認せられたる白檀油と化學的集成を等ふす
治療的効果白檀油と相伯仲し殆んど消化障碍なき特徴を有す
本邦産植物より發見せる純内國產なれば價格低廉なり
故に本品は最も優秀卓絕なる
白檀油の代用として
好評嘖々たり
◎文獻見本進呈す
發賣元 大阪市外中津町光立寺 三友製藥合名會社
特約店 大阪道修町 武田長兵衛
東京本町 小西新兵衛

▼誠意を以て愛飮家各位に御注意▲
一點も非難の無い
★國產 サツポロ アサヒ ビール
これ吾人の元氣を爽快にする
天來の美味なり
■盛夏飲料としてのビールは冷藏庫又は水に冷す爲めレツテルが剝げて種別が分りません
■御家庭以外にて御注文の上召し上る際は麥酒瓶下部の社名及王冠頂上の社印に御注意を願上ます
大日本麥酒株式會社京城出張所
▲誠意を以て愛飮家各位に御注意▲

○日露協約成文

八日外務省發表

八日外務省より發表せし日露協約成文左の如し（東京特電）

七月三日露國ペトログラードに於て帝國特命全權大使男爵本野一郎と露國外務大臣サザノフとの間に調印せられたる日露協約左の如し

日本帝國政府及び露西亞帝國政府は極東に於ける恒久の平和を維持せんが爲め協力することに決し左の如く約定せり

第一條　日本國は露西亞國に對抗する何等政治上の協定又は聯合の當事國とならざるべし露西亞國は日本國に對抗する何等政治上の協定又は聯合の當事國とならざるべし

第二條　兩締約國の一方により承認せられたる他の一方の極東に於ける領土權又は特種利益が侵迫せらるゝに至りたる時は日本國及び露西亞國は其の權利及び利益の擁護防衛の爲め相互の支持又は協力を目的として執るべき措置に就き協議すべし右證據として下名は各其の政府より正當の委任を受け本協約に署名調印す

大正五年七月三日即ち露暦一千九百十六年六月二十日ペトログラードに於て本書二通を作る

本野一郎
サザノフ

○日露協約締結由來

兩國新聞紙の同盟論與つて力あり

露國政府は先年來我國との間に防守同盟を締結せんとの意嚮あり故桂侯の露都行當時既に兩國政府間に之に關する了解あり更に大戰勃發に及んで露國は密かに日本が其の背後を突くなきかを顧慮せるに拘らず却つて日英同盟の義に依りて日獨開戰を見るに至り愈々我に信賴し殊に露國に對する我が好意は同國上下をして全く我に賴るの念慮を厚ふせしめたる形跡あり此の間兩國新聞紙は一齊に日露同盟論を主張せし爲め機運漸次熟し來り曩にミハイロウィッチ大公殿下御來朝の際同隨員たりし極東局長コザカフ氏は明かに露國政府に同盟協約締結の意志ある旨を我が石井外相に傳へ茲に兩國交渉の端を開き斯くて兩國の交渉は其の後圓滿に進捗せるも唯同盟締結に關し猶多少の交渉あり結局防守同盟を結びて日英同盟に準ずるの有力なる協約を結ぶことゝなるに至れるなり（東京特電）

○名士の協約觀

今回締結されたる日露新協約に關する各名士の所見左の如し（東京特電）

▲尾崎法相　日露の握手は我が國三十年來の宿志にして曾て明治十八年頃新日本の義を樹てたるも亦要するに日露提携の希望に出づ然も此の主張の爲めに日露戰爭當時は却つて自ら危害を加へられんとせる經驗あり今や多年の宿望の實現を見るに及んで竊かに今昔の感に堪へず

▲仲小路廉氏　余は誠實に新協約を慶賀するものなり人或は其の簡に過ぐるを説くも余は其の簡なる裡に非常の意義あるを信じて疑はず顧れば明治時代先帝陛下の下に日英同盟成り今又大正の時代今上陛下の下に日露協約成ると想ふに兩者は相俟つて陸海兩面に於る我が鞏固なる基礎を確立するものにして依つて以て東洋に於ける兵馬の重鎭たるを得たり但協約は文字に止まる與に其の意義を徹底せしめ其の美果を收むると否とは今後の努力如何にあり即ち官民の努力如何にあり

▲澁澤男爵　日露協約は歴史的相互の誤解を去りたるのみにても大に悦ぶべく願はくば政治上の結合に止まらず經濟的にも其の實を擧げざるべからず其れにつけても益々兩國金融の圓滑を圖り日露合辧の銀行成立等は之を許可せられたきものと思はる更に浦鹽港の開放を見ば一層の利益あるべく兎に角新たなる一親族の出來たる次第にて甚だ結構なり但新親族出來たればとて舊親族を阻害するが如きは國民の豫め注意すべき事なり

○日露新協約の趣旨

防守同盟の關係

政府は既電の如く日露協約の要領を發表せり新成文は近く公表せらるべきも右要領と異る所なかるべし而して今回の協約は發表せらるべき條項と發表せられざる條項とありて本協約の重要なる部分は後者に屬し其の詳細を知る能はざるも本協約の趣旨の存する所は略之を察するを得べし而して發表せられたる要領を觀るに第一條の要旨は日露兩國は互ひに一方を敵とすべき協約協定又は聯合の當事者とならざることを規定したるものにして日露兩國の交誼に照し當然なりと言ふべし然も其の解釋如何に依り英、佛兩國に對し不利益を及ぼすことなきやとの問題生ぜざるにあらざるもあるに依り本協約の對英佛兩國に對し何等不利益を與ふるものにあらざるや明なり又第二條は日露兩國相互の承認したる極東に於ける領土權又は特種利益が侵迫せらるゝに至りたる時は兩國は其權利及び利益を擁護防衛する爲相互の支持又は協力の目的として執るべき措置に就き協議すべしとあり之を日露協商に比すれば非常に進歩せるものにして日露協商は其の地域主として支那に限られあるも今回の協約は之を極東に擴張しありて單に支那のみならず東部西伯利亞、黒龍江、沿海州、樺太等世上の所謂極東各地を含め又日露協商は主として兩國權利の擁護を誓約したるものなるも今回の協約は權利及び利益の擁護を誓約したるに依り其の目的廣汎に涉り他國の侵迫に對し兵力を用ふる事を辭せざるものにして防守同盟の關係となり居り區々たる措置の協議に沒頭するものにあらざるなり之を要するに本協約は文字極めて簡單にして平凡なるが如きも日露兩國親善の結晶なれば兩國官民の誠意にして變る事無くんば運用の妙極めて永く兩國の利益を擁護し東洋の平和を維持し得べし（東京特電）

○北京政府と各省軍隊

北京政府は六日各省に左の電報を發したり

一、中央の命令無くして妄に軍隊の募集を禁す
二、政府の命を俟たずして軍隊を移動するを禁止す
三、各省に在る軍隊數を所在地に報告すること

尚政府は四川湖南に在る北軍を七月十七日より撤退し現駐屯地に歸還せしむべしと（北京特電）

○塹壕占領

倫敦來電に曰く英軍はオヴィレル、コンタルネイソン附近に於て進出を續行しラボアセル地方に於て一千碼に亙る塹壕を占領せり獨軍はチーヴアル附近にて失ひたる地點の一部分を回復せり（紐育電報）

○獨軍退却

羅馬よりの無線電信に依れば獨軍は露軍の戰線に於て總退却を行ひつゝありと（紐育電報）

○東清鐵道讓渡發表期

東清鐵道讓渡の件及び松花江航行權に關しては日露協約と分離し發表さる可く猶此以外に密約ありと（東京電報）

○北京電報沒收

段内閣が從來北方に不利なる日本行北京電報を電報局に命じ沒收せしめつゝありし事實判明せり早晩一大問題となるべし（東京電報）

○米墨危機去る

米墨間の國際關係緩和し危機既に去れりとの報あり（東京電報）

○皇族講話會

八日午後二時芝離宮に於て伏見宮殿下御主催にて皇族講話會を開き細川潤次郎男外一名の講話ありたり（東京電報）

○首相挂冠と閣員

高田文相及び尾崎法相は大隈首相の挂冠説を絶對に否認するも武富藏相は引退期を頻りに觀念し居るが如く豫算編成後に引退せんとの意を洩らせり（東京電報）

○保健調査委員會

八日午後三時より國民保健調査委員會を内務省會議室に於て開會今後の調査方針につき協議す因みに一木内相は同日午後六時より内相官邸に委員一同を招待せり（東京電報）

○外相の祝賀宴

石井外相は八日正午霞ケ關官邸に於て日露協約成立祝賀會を催したるが當日は露國大使クルペンスキー氏並に同大使館員大隈首相、一木、加藤、尾崎の各大臣芳川樞密院副議長其の他數十名出席石井外相の挨拶に次で露國大使の謝辭あり夫れより宴に移り互ひに乾盃を爲し午後三時過ぎ散會せり（東京特電）

○滿鐵重役會議

重要問題に就き審議

滿鐵總裁は病氣全快元氣旺盛にて七日旅順に中村都督を訪問し會見數時間にして歸社せるが此の日滿鐵本社に重役會議を開き鞍山站鐵礦事業、四鄭鐵道に關する件其の他重要問題に就き審議せるもの如く尚三線連絡運賃問題に關し輿論漸く沸騰し來らんとしつゝあれば本件に就ても何等か凝議せしものゝ如し（大連特電）

○出水被害高

人畜其の他不夥

過般の出水調査に關し八日正午迄に其の筋に達せる報告を綜合するに京畿以南の七道に於ける人畜並に家屋の被害高左の如し

▲京畿道　死者七人、傷者一人、行衛不明二人、家屋の流失四戸、倒潰百十戸、床上浸水千五百六十五戸
▲忠清南道　死者十人、傷者三人、家屋の流失四戸、倒潰三百十六戸、床上浸水七百七十八戸
▲全羅北道　死者十四人、傷者十二人、行衛不明者一人、家屋の流失三十九戸、倒潰百四十四戸、床上浸水四千四百三戸
▲全羅南道　死者三人、傷者一人、家屋流失七戸、倒潰二十八戸、床上浸水二百四十戸
▲慶尚北道　死者五人、傷者三人、家屋流失百五十五戸、倒潰八十戸、床上浸水千二百五十六戸
▲慶尚南道　死者八人、家屋流失九十四戸、倒潰三百七十四戸、床上浸水三千二百六十四戸
▲江原道　死者二人、家屋流失二十戸、倒潰十二戸

之れに依つて觀るに六月中の降雨に起因する鮮内の人畜及び家屋の被害高は死傷、行衛不明者を合し七十四人、流失、倒潰家屋二千三百六十九戸、床上浸水一萬一千五百五十六戸を算せるが又た田畑の流失、埋沒、浸水せるもの總計十一萬餘町歩に達せりと

○木浦商議員當選

木浦商業會議所評議員選擧は八日執行せられたるが開票の結果左の諸氏當選せり（木浦特電）

松井邑次郎▲福田有造▲桂山朝之亟▲奈良次郎▲岡村又次郎▲呼子直七▲入江辰造▲畑野龍助▲森田泰助▲木村健夫▲農工銀行

○六月中の手形交換高

六月中に於ける京城手形交換所の手形交換高は三萬六千九百十二枚金額六百零三萬二千九百十八圓九十五錢なるが之れを前月に比すれば枚數に於て二百二十餘枚を增加し居れど金額は反つて百三十萬圓を減じ一枚平均を見れば前月は二百零四圓八十三錢なれど六月は百五十三圓二十六錢なり尚ほ證書種類別は左の如し

	枚	圓
小切手	一八,四八四	三,七九四,三四五
送金爲替手形	七〇五	四〇四,六〇九
約束手形	三五五	二三〇,九四三
仕拂命令	二,九一八	七四四,四九四
郵便爲替證書	六,八六四	四三九,九八四
公債債券及利札	七,二四九	一一,九九三
雜證票	三三七	四〇六,五四八
合計	三六,九一二	六,〇三二,九一八

○鐵道測量隊歸任

去る四月五日栗里、新義州間平壤、昌城間測量の爲め出發せし板倉鐵道局技手一行は右測量を終了し七日歸任せり

○脫税者過料處分

京城府内に於て自轉車を所有する者は取得の日より七日以内に府廳に屆出で鑑札を受くべく若し之が屆出を怠るときは十圓以下の過料に處せらるゝ規定なるが府民中多數の脫税者ある見込なるを以て今回大々的檢擧を行ふと同時に無鑑札自轉車を發見したるときは假借なく過料に處する方針なる由而して税金と科料とは全然別個の關係なるを以て五箇年迄は既往に遡り税金を追徴せらるべきに付府内に於て自轉車は勿論苟も課税物件を無屆にて所有する者は此際速に府廳に屆出ありたきものなりと府當局は語れり

○京元線直通列車增發と元山

元山商業會議所書記長　石井君談

大正三年八月京元鐵道の全通に依り東朝鮮對全鮮の運輸交通の便備はりて以來▲貨客增加の傾向▲は最近に於て最も著しかりき就中手發送貨物の停滯する事夥しく爲めに不定期列車或は臨時列車の續發を見る狀態なりしのみならず旅客の往復及び貨物輸送上尚ほ不便を感ずると同時に沿線地方商工業の發達事物の向上を遲からしむるものあるより直通列車運轉增發の必要を感ずるの痛切なるを以て曩に元山商業會議所に於ては之れが請願書を提出することゝあり當局に在りても過般來種々調査研究の結果地方交通の便を圖ると共に元山の鮮魚をより多く且つ敏速に輸送せん爲め午後二時四十分元山發午後十一時四十分南大門驛着とし七月十日より直通列車增發を決行さるゝに至れり從來南大門直通列車運轉度數僅かに一回なりし爲め如上▲發送貨物の停滯▲は勿論にして就中特に速達を要する海産物に至りては元山水揚後三日目乃至五日目ならでは京城に到達する能はざりしも直通列車增發後鮮魚の如きは元山驛發送の翌朝早くも京城の市場に現はるゝを以て品傷みの恐れ少なく而も相場の關係上優に仁川釜山方面より搬入し來れる鮮魚と對抗し得るに至るべし又内外知名人士にして元山視察の際京城元山間往復約半日宛時間の節約となり悠々狀況の査察を遂げ得らる其他天下の奇蹟たる金剛山の探勝を企つるもの山紫水明にして最も消夏避暑に適せる元山に避暑せんとするもの及び一般▲旅行者の享くる便宜▲尠少ならず京元線は全通後未だ二箇年に過ぎずと雖も昨年中貨客運賃平均收入一日一哩十圓二十三錢八厘を算し先般湖南線に於ける平均收入を凌駕する事六十三錢尚ほ今後京義線の平均收入一日一哩十七圓四十七錢と肩を並ぶるに至るも蓋し遠きにあらざるべし今や元山は一地方的圏内を脫し世界的商港と變じ世界的商戰場裡に入りて陸といはず海と言はず大いに努力と健鬪を促しつゝあるに當り直通列車の增發を見たるは元山の爲め滿腔の歡びに堪へざる也

人事消息

▲深田留吉氏（木浦裁判所判事）八日夜入京山本旅館へ
▲首藤文平氏（大分牧畜株式會社取締）同上
▲中村辰五郎氏（鎮南浦商業會議所會頭）八日夜入京天眞樓へ
▲山縣龍一氏（神戸高商教授）入京中の處八日夜退京
▲本多所遺氏（貿易商）同上
▲櫛木滿徳氏（鑛業家）入京中の處七日朝退京
▲レムレン氏▲グリンバード氏夫妻（以上米人）八日夜入京朝鮮ホテル

男爵伊藤文吉著　東京民友社發行
獨逸の經濟的勢力
菊版二六八頁　定價金壹圓五拾錢　郵税金拾貳錢
目次
[illegible]
德富蘇峰先生卷頭に序して曰く[illegible]
圖表
各國產業統計の比較
合資會社京城日報社代理部（振替口座京城三〇〇番）

森田太三郎君畫
自在畫集　小學生繪手本　全四册
第三學年生用　石版極彩色刷　各册四十八頁　正價各貳拾錢　郵税各四錢
第四學年生用
第五學年生用　石版極彩色刷　各册六十四頁　正價各廿四錢　郵税各四錢
第六學年生用
此本は、諸君が先生から自在畫の宿題を出されて、ヘテ何を書かうかしらと考へる時、此手本さへあれば諸君が書きたいと思ふものは何でもあります。諸君は此本を見て工夫なすればドンナ繪でも思ふまゝに書けます。
大判美麗表紙

幼年百譚　お話の庫　春の卷
古今東西のお伽噺と英雄偉人の逸話とを排列した壹百篇、面白い話勇しい話、不思議な話可笑しい話、珍しい話悲しい話が諸君の意のまゝに現はれて來る寶の庫、智慧の鍵で開けて御覽なさい。
四六判上製美本　夏の卷續刊

少年通俗教育會編
少年百譚　歷史の庫　春の部
各册石版彩色刷及寫眞八葉入　正價金五十五錢　郵税各六錢
英雄偉人は少年諸君が崇敬の中心である。本書は和漢洋の英雄偉人・列婦學者・名僧などの逸事奇行と内外大戰の物語と併せて愛育、學校と談話會、同窓會などの講演材料として無上の寶典。
四六判上製美本　夏の部續刊
本町　博文館

新築落成
肩書地へ移轉致候
本社　東京市麹町區内幸町二丁目五號
東海生命保險相互會社
電話新橋（五五六三番・五六四番（重役用）・二二六〇番・二六〇七番・二六〇五番）
振替貯金口座東京二一〇七五〇番
專務取締役社長　松方五郎　監査役　小川源太郎
取締役　諸戸清六　同　春田融満
同　阿部市三郎　同　大島要三
同　伯爵　川村鉄太郎
同　宇都宮金之亟

●諸物價低落の勢 [illegible]日の採點[illegible]最低に六十二[illegible]諸物價漸次低落の趨勢を現し來れり[illegible]云ふ尚本年一月以來六月迄[illegible]

●犯人判明 去月二十九日[illegible]午後五時頃開城北本町全天明（三八）が[illegible]遁盾宴席にて何者にか腹部を踏み[illegible]ることを突き止め同人を引致したり

●五人斬縊死す 東京神田區富山町二〇車力業中澤鉞六（四十）は去[illegible]中の所[illegible]に打斃け縊死を遂げたり（東京）

●怨みを手に 慶北義城郡[illegible]其の死後繼伊を虐待すること甚しく碌々食事をも與へず打過ぎ居れる內[illegible]るが不服を唱へて[illegible]面長の訴したり

●江原道の降雹 江原道通川[illegible]郡附近に於ては去る[illegible]午後零時頃[illegible]を爲したるが面長より其理由なしの[illegible]とて受理せられざりしを以て[illegible]

南鮮水害地視察　湖南線方面

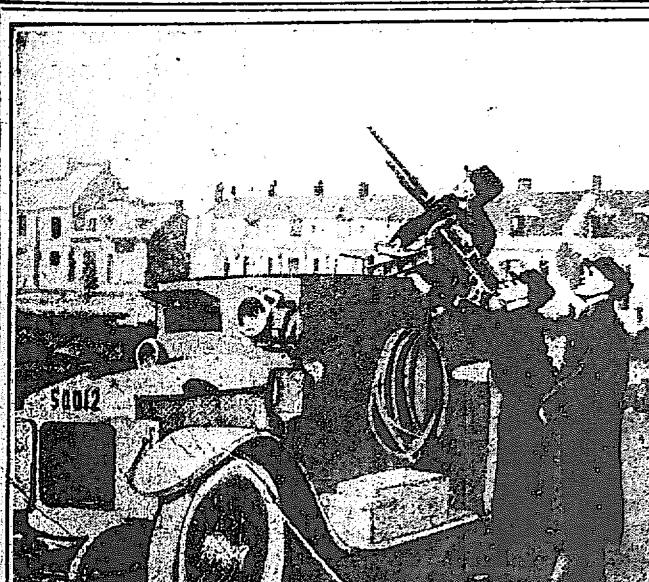
◇錦江の氾濫　―第五信―　別府特派員

五日午後　大田にて

江景停車場に降りたのは五日の朝の九時半であつた、烈しい夏の日が雲を破つて炎々と照り、驛前を真直ぐに通つた廣い赤土道にはゆら／＼と上る陽炎が著しく見られた、直に俥を飛ばして東拓江景出張所外二三を訪ひ、更に寸刻を休まず、江景より論山までの約二里半、所謂服部道路に俥を急がせて東行した、道は三間幅の坦々たる街道で江景論山南平野に並行した湖南線の軌道が自由に眺められてゐる、南側遙かに流るゝ連山は遠近によつて其の濃淡の色を見せ、所々の農家の前で麾れた麥を打つ音がポトリ／＼と續く聞ゆる、それは平和な平野であつた、併し其の平和は昨今である、平和な昨今でも十日前迄の出水氾濫を想はするに十分の亂れと痛みが左右に打續く水田や道路に現はれてゐる。

▼江景平野水害 開いて見ると所謂江景論山平野六千町歩の水田は、六月中下旬前後二回に亙り錦江の氾濫及び錦江支流の浴水を受け、忽ち廣い一面の濁海に化した、然し兩度共錦江に落つる減水が意外に早かつた爲め、全北方面の如き慘害は免れたのである、其內約四千町歩は四日以內に水が引いたから、殆んど損害はない、又約千五百町歩は浸水稍永く多少被害がある、而して彩雲山麓に屬する山影谷間の約五六百町歩には今尚ほ滿々たる水を湛へてゐる面積少なからず、無論稻苗の腐蝕は甚しく、の事だと云ふ、乃至大體に於て此の平野の被害を見ると二千町歩は收穫皆無及び被害地となるが、何か例年旱魃で挿秧の出來ない水田も多いと云ふから、彼此差引平作よりは一割強減約十萬圓近い被害と云ふ算盤になる、尤も東拓の所長は擾害を受けた平野の中の千五百町歩は最も肥沃な土地で其處の害は二割減だらうと云ふ觀測である

▼平年より一割減 記者は各方面より耳にした之等の事實を頭に纏めつゝ刻一刻と論山に近づく、其間服部街道が數箇所も切崩され、兩側水田の稻苗は或は倒れ或は水を浴びて弱つてゐる、苗代其儘腐つてゐるのもある、浸水田の手入れに忙しい百姓もある、初めて見た論山は割に人家が多かつた。郡廳に聞くと係員は郡內水害の大勢を說明して呉れた、耕地一萬三千町歩（江景平野を含む）中三百町許りがまだ浸水の爲め何等手の施しやうがない、但し論山郡は年遊旱例年旱害を著しく蒙る、昨年の如き三千町歩は旧田と化した位で今年の稻作現況は去年に比すると幾分よい、併し平年に對比すれば矢張り一割減を免れぬと云ふに歸著した、復舊策としては相變らず妙案なく全北と大した違ひはなかつた論山郡は隣郡從山の山の手なさから苗を貰つたり、切りに例の苗代を奬勵したりしてゐる、稅穂は多く早稻神力だと云ふ話しを聞いた、又忠南扶餘郡南面九龍面の平野は浸水一千餘町歩に上り殆んど全面積非常の低地だから未だに減水せず、損害甚大との事を江景で知つたが日程の關係上入込む餘裕を持たなかつた、五日の夕刻論山より大田に出る、これで記者の水害視察を終つた譯だが多少雜聞と云ふ方面の事を次信に錄しやう



□武裝自動砲車 海陸共に聯合軍より封鎖されたる獨逸は空中を利用し飛行機又は飛行船にて不絕聯合國の要所々々を脅かしつゝあるが聯合國にては此の奇襲に對して常に監視防禦を怠らず圖は白耳義に於ける飛行機狙擊用に供する武裝自動砲車にして同國兵士が獨逸飛行機に向つて照準を定め居るところなり

●東株の祝賀會

▼盛んなる提灯行列 東京株式取引所にては八日日露新協約締結祝賀提灯行列を行ひたり此の日理事長郷男爵以下の幹部は取引所に會し祝盃を擧げ 陛下の萬歲を三唱し次で露國皇帝陛下の萬歲を唱へ七時出發二重橋を經て首相官邸、外務省、露國大使館に到りて祝賀を唱へ散會せり（東京特電）

●嚴しい水の取締

▼夏は給水不足を來す 京畿道水道係にては本年の夏季に於て當然給水不足を來す可きを豫想し豫め今日を使用者の注意を喚起するの必要ありとし既に客月來水道係總出の姿にて使用者の各戶訪問を行ひたるに意外にも水道取締規則の違反者多く五月中に百六十七件六月中には百三十三件の各處分を行ひたるが中には本町筋の某有力なる飲食物製造業者にして自家には計量器付の水道栓を引用しながら實際は之を使用せず附近に在る自家の貸家に引用したる水道料金の低廉なる共用栓より水道水を盜用すること滿二箇年間に及べること發見し目下此れが處分の手續中なるが今後共斯る不德漢に對しては斷乎たる處分を行ふ方針なりと

●急流に浚はる

慶北青松郡巴川面官洞文錫文（五三）は長男李啓淳（一〇）と共に數日前同面中坪洞より新坪洞に逃かんとして新坪川を渡渉中折り柄の洪水のため親子もろ共急流に押し流されて生死不明となりたり直ちに死體捜査に著手したるも未だに判明せず又青松郡青松面長洞崔思吉（三七）は府東面上[illegible]

●中部朝鮮は雨

支那方面に新低氣壓 七日は南支那方面より進行し來りたる低氣壓群山沖に接近したる爲め南鮮地方一帶は相當に降雨あり殊に木浦に於ては六十粍の雨量を示したり低氣壓は七日午後に至り南部朝鮮を横斷して日本海方面に通過したる爲め一時晴天を見るに至り之の影響を受けて京城地方に於ても亦一時晴を以て同日午後に至り朝鮮西海岸一帶は一時晴天を見るに至りたるも八日午前に至り復た中部朝鮮に局地的低氣壓起りたる爲め中部朝鮮全部は降雨を見るに至りしが更に支那方面よりの電報に由れば八日揚子江と靑島との中間部に於て七百五十ミリを示せる低氣壓發生し漸次朝鮮近海に接近し來る模樣なるを以て九日十日は同じく陰鬱なる天候を呈すべし猶氣溫は例年に比し概して低溫なり（京城測候所員談）

●早大の鮮人三秀才

早稻田大學に於ける生徒中朝鮮人にして優等の成績を收め特待生となれる者二人あり一人は哲學科三年生崔斗善氏一人は史學及び社會學科の廣相允氏にして共に內地人學生を凌駕し居れり尚去る五日同大學の卒業式に際し政治經濟科卒業生中の第二位を占めたる張德秀氏は曾て平壤邊に小學敎員を奉職せる事あり平素品行方正にして敎員生徒間にも評判頗る宜かりしと

●明石須磨百景畫會

曾て本社繪畫部員として盛名ありし靑年畫家柳田謙吉氏は歸東後淸新な作品の製作に從事し居りしが今回郷里明石に歸省したるを機として同地の有志相謀り明石須磨の百景畫會なるものを開會せるが作畫は同地附近の實景を忠實に描寫せるものにしてワットマン十六切金緣硝子入額面付にして一口金三圓五十錢にて希望者は兵庫縣明石林木町一〇一明石須磨百景畫會事務所へ申し込べしとなり

●怪しき青年

元山中里一統金正申（二二）が父の金三百餘圓を拐帶して家出し內地に向ひたる形跡ありとて元山署より釜山署に向け取押へ方手配中六日午後十一時半停車場附近にて怪しき人青年を認め誰何したるに前記金正申なりしかば直ちに本署に連行し親元に照會中なるが同人は現金三百餘圓を所持し內地に渡りて陶器學校に入學する目的なりしと云ひ居れりと

●我が子を食ふ

咸鏡南道洪原郡龍源面豊溪里一統四戶陳命源の後妻金昨女（三一）は八年前夫婦となり男女兒各一名を擧げ又本年舊一月より姙娠中なりしが舊四月廿七日海邊に行き過劇の勞働を爲したる爲め翌曉流產するに至れるを以て其の儘放置し置きたるに同人が死胎を食すれば直に姙娠すべし又平素の持病も全治すべしと敎へたるより金姓女は之を信じ自己の流產せる四箇月未滿の血塊少量を食したる事其筋にて探知し嚴重に說諭を加へたりと

●偽郡書記の詐欺

咸南三水郡三南面伸坪陽里李日[illegible]方に寓居せる朱奎錄（二二）は郡書記と詐稱し三月十七日三水郡江鎭面小農里に赴き里長李孝瑞に對し土地所有權證明願を提起せざれば其の所有權を亡失すべしとて里民を召集せしめ此際右の手續をなし遣すべしとて一同より四十二圓五十八錢を騙取したる詐欺事件は咸興地方法院にて懲役六箇月の處分となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴したり

●骨董商の惡計

長崎縣南高來郡堂崎村生れの田中久五郎（四二）は京城若草町に於て骨董商を營み居れる內昨年十一月中旭町二丁目の渡邊某より鐵一組、太刀一振（三百圓）を賣却方を依賴せられたるを奇貨とし之れを入質して代金を橫領し尚ほ明治町廣瀨某より藤田東湖著の軸物一幅（五十圓）及び大和町赤星某より唐畫二幅（八十圓）の賣却方を依託されたるを入質し費消したる事件は京城地方法院にて懲役一年の處分となりたり

●支那兵の强盗

一日午前九時過ぎ靑州東關にて正服を落せる支那兵の一隊は短銃を放ち靑州同業組合員三十四名の懷中時計其他所持品を强奪して去れり（青島）

●群山の大相撲　二日目の勝負

群山東京大相撲八日二日目の勝負左の如し（群山特電）

勝	負
兒島洋	綾鶴
大門岩	朝日山
駒泉	梅川
宮城山	四海波
岩木山	龍ケ崎
近江富士	釋迦嶽
源氏山	兩國
大錦	西の海
玉柳	男島
成瀨山	常の花
一港	朝緣
稻葉嶽	大の川
紫雲龍	小常陸
九州山	宇都宮
對馬洋	栃木山

▲番外お好み　近江富士　紫雲龍

●大相撲群山出發

東京大相撲一行は八日夕刻群山發列車にて木浦に向け出發したり（群山特電）

●仁川と大相撲

東京大相撲一行は來る十九二十の兩日京城より仁川に花々しく乘込み本社代理部前空地に於て興行すべく目下頗る前景氣旺んなり

●三歳書道會小會

森雲耶山人門下の三歳書道會にては九日午後一時より五時迄元ソンタクホテル樓上に月次小會を催し會員の成績品陳列及び席上揮毫等を行ひ一般有志者の參觀隨意なりと

●應募者へ注意

幕內力士優勝豫想

東京大相撲京城[illegible]行中の景況を[illegible]よるために目下懸賞募集を行ひつゝある幕內力士優勝豫想は好角家連の大歡迎を受け應募者日々机上に山を爲す盛況だが多くの應募者の中には規定を見ずに寄越すものがある

▲大錦西の海等 の橫綱大關を除き十兩以上の名を記して來る者もあれば又十兩の一港、駒泉、常の花、幕下の錦西山などを記して來たのがある、此の懸賞はその名の示すが如く幕內優勝力士豫想（橫綱大關を除く）であるから十兩、幕下に優勝者が出來てもそれは無効である、それから二人以上を記したものも無効、優勝者二名以上の場合には位置の下の力士に銀盃を贈るから豫想的中もその力士となる、即ち

▲銀盃を受ける 力士を言ひ當てた者を一等とし、それに續く成績の者を言當たものを順次的中者とするのである、的中者多數の場合には抽籤に依つて入賞者の等級を定める、賞品は一等銀側時計、二等反物外朝鮮煙草、東亞煙草會社製品の寄贈、大正、黃金兩館の一、二、三等觀覽券等合せて約百五十點である、締切は十二日が初日となれば一日繰下げて同日締切とするが十三日初日となれば締切は矢張り十三日である

運動欄

▲京城工専醫専 對抗野球戰 八日午後三時より京城工專對醫學專門學校對抗庭球戰を訓練院コートで開始す

▲昌德宮擊劍會 去る七日午後二時より京城昌德宮警察署構內演武場に於て聯合擊劍大會ありたるが劍士は警務總監部、京畿道警務部、昌德宮警察署、高陽警察署、本町警察署、龍山憲兵分隊、京城憲兵分隊、京城監獄、西大門監獄、軍司令部、京城中學校、京城專修學校、武術會、武德會等勤務の面々にて警官練習所の篠崎仁平氏昌德宮署の澁谷一氏の警視廳流の木刀試合型に次いで劍士約百名四十五組の演武あり呼子昌德宮署長より其々賞品を授與し最後に模範試合四組あり來賓としては李王職より閔李王職長官、李秉武官以下各職員、尹德榮子爵始め朝鮮貴族、總監部よりは山形參事官、中野の各課長、大橋副官、松永京畿道長官、隈部警務部長以下所轄警察署長、各警察署長、分隊長等多數あり演武終つて來賓劍客一同に立食の饗應あり午後五時頃散會したり因みに當日の審判員は左の諸氏なり

▲京畿道[illegible]▲[illegible]

▲演藝會番組

[illegible]

▲浪花館 [illegible]

▲黃金館 [illegible]

▲大正館 [illegible]

▲歌舞伎座 [illegible]

讀者文藝（一等には五十錢の商品券を呈す）

▲物は付「滑稽なもの」

○歐洲人の日本劇（一等）　成歡　山下　風嶺

▲落語家のよつぱらい　京城　淺井　秋月

▲婚禮の屁　平壤　笑人

▲此りの喧嘩　京城　多美子

▲迸し込んだ顏に削た鏡　龍岩浦　釘本　總角

▲帽子が飛んで禿頭　京城　臨　悅生

▲凹凸鏡に映つた顏　龍山　照　京新

▲盲人の芝居（先著）　京城　木村　又六

▲聾者に親展（先著）　成歡　森　存外

▲牛が曳いて行く破損した自動車　龍山　夢の家

回一口噺「追懸合」　締切　八日　發表　十一日

謎題「梅雨晴れさかけて」　同　九日　同　十二日

狂歌「ラムネ」　同　十一日　同　十三日

俗謠「風鈴」　同　十二日　同　十四日

川柳「鄰」　同　十三日　同　十五日

次回物は付「思ひ出すのは」　同十四日　同十六日

▲募集規程 一枚挂に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後に▲種類の孰る毎に用紙を異にする事總て一題二句以內の事▲此規程に違はぬものは沒書▲用紙は端書又は同型の洋紙

本町の龜屋

七月五日より中元及び暑中の御進物用品賣出し仕り候

和洋酒、食料品「食器類」洋菓子、和洋雜貨類等嶄新の品澤山之有候

藥劑師會員募集 講師

東京藥學講義錄

志望者にて通學の餘暇なき者は速に入會せよ本會は充分目的を達せしむ 此際大特典

[illegible]

葬儀は人間最大の典禮なれば[illegible]

京城永樂町　大葬社　電話一〇五番

日韓書房　新版報告

隱れた事實　明治史

日本史蹟　赤穗義士

老人へ青年へ

振興と組合

帝國　漫遊案內

京城本町二丁目

中元贈答品賣出し

例年の通り御進物用品各種取揃居候特に本年は原産地より適當品澤山著荷仕候間多少不拘御用命奉願上候

尚地方より御注文の節は引替小包其他便利の方法にて御送附可致候市內は電話一一二番にて御注文願上候

萬漬物諸罐詰瓶詰　海陸物產各國珍品　問屋

京城本町一丁目　日下部號　㊐商店　電話一一二番　振替一四一五番

內地　瓦斯コークス

京城西小門町　西崎商會　電話七二七

京城西花壇御披露

左に其設備と營業振りの一端を御披露申上ます

一、京城西花壇は……午前九時より午後十二時迄營業仕候

一、京城西花壇は……庭園廣く四季折々の眺めよろしく趣きを凝らした園內に朝顏を改造し粹士雅客を待つて差かしからず

一、京城西花壇は……早朝より仕立てある風呂は常に清潔を主とし入り心地よきに御注意を拂ひをけり

一、京城西花壇は……各種の娛樂器を備へ商尙なる遊びに供し候

一、京城西花壇は……料理に至りては特に料理人を呼び寄せ新鮮の材料により自慢の庖刀を振ひたるもの美味と衛生的とに於て十分御滿足を與へ得べく候

一、京城西花壇は……諸事御手輕を專らとし御家庭に於けると大差なき費用にて御心安く十二分の御樂しみの出來る事は他に類のなき特色に候

一、京城西花壇は……右の外料理出前御集會の席貸等痒い所へ手の屆く樣振目なく御用に可應候

ドンナ物か一度御ためし被下永き御贔負を希上候　敬白

京城若草町　電話二二六三番　西花壇（永樂町西本願寺東側井出邸內）

女鵺

渡邊默禪

『三九』心の雫

『おやあお父さん、それつきり何處へ行つたか分らないんですか』

『む、分んね。鐵砲で打たれても構はねえから、ふン捉めえてやるべえと思つて、隨分遠くまでぼツ蒐けて見たけんど、何處へ姿を晦しやがつたものやら、けえもく行方が知んねえもんだから、あゝ困つたもんだ、俺ア何の因果でこんな(碌でなし)性根の腐つた奴を倅に持つたんだべえと、俺ア情なくつて〳〵、寧の中さ押立つたまんま、暫時泣いてゐたじ』水洟をかむ樣子。

『ほんとに何といふ兄さんでせうね、そんな惡い事をしてゐた所を見ると、やつぱり猶且昔のまゝの鬼のやうな恐ろしい心を持つてゐるんですのね』お花は泣歔欷りながら言つた。

『早く改心してけろ(呉れる)やうんと、朝夕村社さまにお願ひしてるんだけども、神樣も手が著けらんねえ野郎だと思はしやつてか、今もつてハア御効驗が無ねえ。あたな畜生にも劣つた奴は、い、寧そのこと死了つてともければ、まだ諦めがついて寢覺がよかんべゑになア』。

此時大野はそつと戸の隙から覗いて見ると、二人はまだ寢なかつた。ちよろ〳〵と燃ゐる榾火の紅く顫れかゝつた囲爐裏の邊に、どつかと胡坐をかいた源作が、拳をこしらつた右手の甘手で、拳りと鼻を擦りあげてゐた。この傍に賃を刻む舊式の道具が出てゐて、寒さうな炎の上にちら〳〵と火影が顫れて見ゐた。それと向ひ合つたお花は悄然と差俯いたなりに、襦袢の端をもつていつて目を拭いてゐた。大野は何だかなしに胸が一杯になつた。

『お父さん』少時してからお花は潤んだ目を擧げた。『假令兄さんが如何ならうと、私が家に居てお前さんの世話をして上げたら、それで可いぢやないの。あんな兄さんを子供だと思つてゐると、餘計に腹も立つし、氣も揉めるから、もう勘當をしたのだ、縁もゆかりもない他人だと思つてさつぱりと諦めて下さいよ。ね、お父さん、その代り私、兄さんの分までも背負うやうにして、二人分だけ稼ぎますから……ね、お父さん、忘れて下さいよ、兄さんのとは』

『むゝ』源作は堪らなくなつて涙に咽び立てた。『ほだ〳〵(左樣だ〳〵)忘れんべハア。忘れるのが何よりの藥だ。だけんど彼奴して此邊近在で聽をされて見ると、親の身としてかまねえで(構はずに)置く譯にもいかねえで、ちよつくら巡査の所さ行つて届けだけして置いた。遅かれ早かれふン捉まるとたんべゑが、ほうすりや俺も名も出れば家にも瑕がつく。と合點したから現在のハア親の口から、子供をふン縛つてけらつしやいと訴へて出た時の俺の心は、どんなだつたぺゑ(どんなであつたらう)と思うづ。』

中元の御贈答品は高尚なる文房具の商品切手に組合文房具をお奨め致候を京城シノサキ商店の誇りとする處に御座候

お花『それむやあ兄さんだといふ事を打明けて、警察へ訴へたんですか、お父さん』流石に穩かならぬ仕打と思つたらしく、多少の怨を目に輝かしてすいと寄つた。

『いや、なんぼなんでも俺の倅は泥坊だす、と親の口から言へるかよ。ほだなことを言つたら面目なくつて、殿様にも御家來さまにも、又た世間の人にも顏向ができなくなるべな』

『おやあ、何とつかす警察の方へ個う届けて出て、そして殿様の方へもそれだけは内所にしてあるんですね』と稍安堵したらしかつた。

『ほだ』(左樣だ)と頷く。

『だけどもお父さん、詮しいのね、凝手と膽を据ゑて『時計とピストルを盗つて逃げたんだから、泥坊に入つたんではないと言つた兄さんの言譯は立たなくなるが、只盗みをする丈けなら、何もお姫さまをそんなことを爲なくとも可い譯だわね。そこを考へると、譯があつて連の一人を殺すつもりで入つたんだと言つたのがどうやら眞實らしく思はれるわ。そうすると兄さんは、お姫樣を殺すつもりであつたんでせうか』

『さあほれが分んねえ』

二人の聲は急に低くなつた。

紙上論戰

〈育兒上の大問題〉〈讀者領分の反響〉

世人の注目を惹いた育兒問題の投書は毎日机上に堆を成し其論戰は正に酣となりました。此際係りの立場から一言申上げたきは紙面の餘裕が十分でありませぬのと成るべく多數を掲載したいと思ひますから投書は簡潔に願ひたひことであります

◇ ◇ ◇

自分が倒れたとき起してもらうと云ふことはやがて他人が倒れたときも起してやると云ふ所謂機關の結締を密にしむることになる相依り相扶くと云ふことは人間相互を形成するに最も必要な要素であることを忘れてはいけない獨立自尊も程度の問題で餘りに此の傾向を助長せしむれば得て個人主義に流れしめ遂には國家社會を如何せんと云ふ如き嘆をもたらすに至るであらうと云ひ極めたならば過ぎ來りし某紳士夫人と子供問題も大方の解決がつくであらう(池民)

◇ ◇ ◇

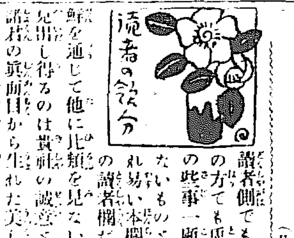
個人主義の人は獨立心の强いものである、獨立心の强いものは理性的である情の深い家族主義の日本國民には西洋人其の儘の個人主義は通用せない所に吾が國體の特味がある此の意味が了解したら從來八ヶ間敷い小供教育の議論は解決するのである先哲が云ふて日はく「もとをとらで末のみつむは世の人の心なりけり」(和の花 伊勢の人)

◇ ◇ ◇

これた子供の其の時の心がどんなであつたかが分らないのに之を抱き起さなかつた母親の仕方がよいのわるいのと評は出來ないが其の子の爲めには兎も角も熱心であるべき其の母親なる人には兎も角も最善良に其の子を育てたい心が先ち落ちて居るに違ひない、換言すれば其の母は其の子を育てる上に於て非常に熱心の内にも他人所不見の模倣に眞似して居なければならぬ筈である。

◇ ◇ ◇

要するに其の人の抱ける理想に子供は知らず識らず引き附けられて居るのであるから其の理想若くは信仰からして完全のものに仕上げるのが第一肝要であると思ふ。たゞ一寸凡人の凡考では起してやるのが善いかわるいかでなく親の感情は前後を考ふる刹那を見さない飛んで行つて起してやる筈だと思ふ。(中略)イヤにオツなわざとらしく育てたのではどうも屢々大人らしいものが出來て日本人の特性を失ひはすまいかと考へる、結局、無邪氣、細斯な子供を完全に導くと云ふことは六ケしいに違ひないと凡考して居るのである(凡人生)



讀者側でも新聞社の方でも兎角市井の些事一顧の値もないものと輕視され易い本欄も貴紙の讀者欄だけは内鮮を通じて他に比類を見ない權威を見出し得るのは貴社の誠意と投稿者諸君の眞面目から生れた美しい結果であると心嬉しく思つてゐます(スパルタ生)

僕は二三年前より端歌研究して居ます是れ迄端歌會と云ふも内地には澤山見受けますけれども京城では無い樣です貴社主催にて多人數收容の出來得る料理店にて各自會費支出の上同好の士ならば藝妓でも何人にてもよろし募催しては如何ですか端歌の師匠も居ます(狂歌生)

▲近來京城に十數箇所の寺院が建立されたのは誠に結構である然れ共未だ一定の取締法のなき爲か實に默視する能はざる者あり謡器の近所の或る寺の如きは夜分になると貸席と變じ賴母子講琵琶淨瑠璃浪花節殆んど寄席待合と同樣夜中酒宴を張りキヤツキヤツと騷ぎ廻る之れでは佛の有難味も消て仕舞ひ我々熱心の佛敎信者も此頃ではアーメンの方が有難く感じられるそんなのが外にも二三箇所あるとは實に怪しからん事だ(佛敎信者)

七月新荷 音譜 號著 京城本町 日本蓄音器商會

京日案内

▼申込後中途揭載中止の節は料金返戻せず

普通(一回前金三十錢無割引 匿名一回每に金五錢増) 番外(一回前金六十錢無割引 匿名一回每に金五錢増)

普通

◎至急旅館を讓る 京城市内南大門附近有望の場所(姓名在社) 664

◎貸家 若草町黄金湯前向日本建二階家 閑靜にて官吏好適 瓦斯水道設備 家賃拾五圓 電話九八九番 667

▼御不用の古本「雜誌」は至急共 信用ある 本町ウツボヤへ 616

▼帝國發明大辭書 三圓二十錢 京城本町 振二武二參 ウツボヤ書店 616

◎店員至急入用 年齢十七歳より二十歳迄の者本人來談あれ 龍山驛前森下酒店 電話百二番 653

醫院又は病院へ代診に雇れたし(姓名在社) 655

◎店員入用 年齢廿二三歳以下保證人を要す 龍山元町二丁目 三笠金物店 657

◎看護婦見習生若干名入用 希望者至急申込まる可し 京城日報社仁川支局 658

大猫牛馬に豫て本注射を施せば狂犬病に罹らず 又犬病豫防注射所 京城大猫大診療所 南山町二 電六九三 659

◎行商人募集 市内行商人希望者は本人來談あれ 櫻井町二丁目 確實なる保證人持參午前十時迄 609

◎貸家 初音町一六五 官吏向一戸建二間三疊一間 閑靜地域内 賃格安 京城府社祠同地 林業社 648

◎貸家 日本建官吏向 錦町 警察署横 家賃格安 使用の使あり 電話二四三六 892

◎乳母至急入用 希望者は京城南大門通腸病院へ本人直接來談(藤木商店横)

◎飲食店 市内有望場所希望の方は(姓名在社) 649

◎素人下宿讓たし 造作小道具附 大和町二丁目 商業閑靜 カハス湯隣 小野崎 653

番外

分析礦物各種 京城太平通二ノ二五 坂元分析所 電話一三四四 668

◎樂器買入 古オルガン バイオリン 舊金銀買取ます 京城大和町一ノ三五 杉野樂器店 665

集金女事務員採用 高橋法律事務所 666

開業十週年記念品進呈 龍山元町三丁目(電話三三七) 三笠金物店 656

眼鏡專門 各眼病院 眼科醫用達 京城黄金町 宮川大學堂 振替京城壱參弐九 661

恩給年金 短期無保險迅速融通 京城武橋町二三番地 電話二三八三番 北方京城日報社 國江商會 619

◎ほねつぎ(うちみくじき)等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 632

◎京城春川間每日午前八時出發 京城南大門通一丁目 電話二一九番 主務 金正淵 廣橋自働車 648

電話開通一八五七 京城魚市場隣 萬染物商 若宮染工場 634

京城春川間乗合自働車 賃金片道四圓 京城發午前八時 春川發午前九時 京城水標橋通り 電話弐壹參八番 支配人松田吉男 ◎京春自働車商會

商品切手 何處の商店發行にても高價買入申候(御報次第參上可仕候) 旭町二丁目角横山商店横入 電話一八八七 ○旭商會 844

脚氣特効新藥 ブラニン 苦んで居るより早く服藥せよ シビレむくみを去り衝心を防ぐ 快・藥價・一日にて効驗顯はれ一週間にて全快 一瓶八日分金六十錢 發賣元 京城本町 目白藥局

御土産物 内地土産は本町電氣會社前の伊藤骨董商店のヒスイ及高麗燒を御推下さい價格は精々勉強致します 本町二丁目電氣會社前(電話九九四番) 骨董商 伊藤寶古堂

蠶繭委託賣買業 京城府龍山漢江通八番地 河原壽夫繭絲店 電話四二一番

新刊書御案内

書名	著者	定價
◎朝鮮各官廳受驗者必讀 法律講義	政上鋼吉	特七五
◎朝鮮府巡査受驗提要	永野清	特四五
◎九種傳染病豫防軌範	瀬川小造	六五
◎經濟大辭書(第九卷)	同文館	特四、五〇
◎化學實驗案内	楫侶鏘太郎	七五
◎刺繍の仕方	正治	七五
◎古錢の話	好古堂主人	七〇
◎南支那之經濟	岡田忠彦	一、五〇
◎科學の價値	田邊元譯	一、三〇
◎悟つてから	日置默仙	八〇
◎世の外	森田濱雄	八〇
◎普選日本人心の解剖	元田作之進	八〇
◎浮城物語	矢野龍溪	九〇
◎嫁入り前の娘さん	北村貫人	四〇
◎丹下子(上)	佐藤紅緑	九〇
◎全譯館人の妻		二、六〇
◎獨歩傑作集		二、二〇
◎お七吉三	田村俊子	四〇
◎孔雀草		五〇
◎雲十八番		二、五〇
◎高等女學校入學試驗準備書		四〇

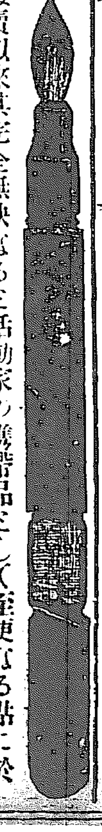
大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三

ほまれ味噌 茂木式特許製 日本醤油株式會社京城出張所 電話二四五番

營業目録

鑵詰 乾物 海産物 雑穀 洗濯石鹸
漆器 家具 文具、紙 綿、農具 ショベル 金物
陶器 磁器 簾 屏風 芦莚 花
荒物 履物 澤庵、茶 昆布 鰹節 酒、石油
乳母車 雨傘 東京簞笥 碁盤 蠅取紙

仁川新町 津田兄弟屋本店
仁川宮町 津田兄弟屋支店
京城本町 津田兄弟屋支店 電話七六二番 振替口座京城三八九番



タイヨー萬年筆 一

特價發賣以來其完全無缺なると活動家の携帶品として至便なる點に於て到る處最高評を博し豫期以上の好成績を收たれば聊か謝意を表する爲跡五千本を限り特價六十四錢を以て發賣仕候條此の際引續き御用命ありたし

振替貯金口座京城三〇〇番 京城日報社代理部

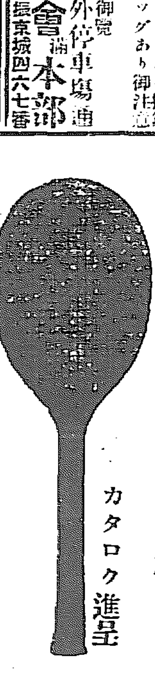
瀬戸皮膚科外科醫院 旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀬戸潔 診察夜九時まで (電話二四九八番)

花柳病豫防藥 ラーオ 約二十回分 定價五拾錢
特別精撰 ルーデサック 打壹五錢以上六拾錢
特別精撰形 ルーデサック 一個壹五錢
特別精撰 子宮サック 壹個七拾錢
近來各地に偽ドラッグあり御注意を乞ふ 本月五日京城日報御覧
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會本部 電話二五六七番 振替京城四六七番

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衛生無害
醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四二〇番 振替貯金口座京城八一五番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候



運動具は京城シノサキに有り カタロク進呈
京城本町二丁目 篠崎運動具店

高井醫院分院(電話一三一五) 西小門町當醫院跡
内科小兒科 外科花柳病
診察 自午前八時至午後九時
院長正六位勳四等 高井 醫學士 松崎正貞

商況

大阪株式特電

京阪電鐵 和歌山紡 合同紡績 …

大阪三品

八日後場 七月限 … 後場當限寄付十三圓四十八錢止め二十錢△中限止 寄付十三圓八十六錢止め六十二錢△先限寄付十四圓三十二錢止六錢

仁川米豆取引所

二八一 一三、四〇

寄附氣配なるを受けて十二圓十三錢と下放れ直に〇八錢と押し十二錢と返し大阪臨時入電を受けて再び〇八錢と押したるも結局十二錢と返して散會

▲現物界 天氣米十一圓十錢不變 米十二錢水原粳 十一圓二十五錢

八日限の九月限 寄付 十二圓十三錢 止め 十二圓十二錢

賣買取組高 七月限 五萬二千五百五十石 八月限 二萬七千五百五十石 九月限 四萬千七百五十石